



あいづ
まちなか
アート Aizu Art Project
プロジェクト

開催報告書 2022

あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会

もくじ

あいづまちなかアートプロジェクト2022開催概要	02
展示状況	
会津・漆の芸術祭	03
会津・漆の芸術祭によせて	03
メッセージ	04
まちなかピナコテカ とまりぎ美術館で待ちあわせ	42
資料編	
展示会場一覧	60
出品作品一覧	61
開催ワークショップ・主催イベント・連携イベント	65
会津・漆の芸術祭アンケート集計	67
「会津塗桐下駄プロジェクト」報告書	73
大戸町南原地内における特用林ウルシ樹育成事業	93
会津・漆の芸術祭ポスター	95
会津・漆の芸術祭パンフレット	96

表紙デザイン

会津大学短期大学部 産業情報学科 デザイン情報コース 専任講師 北本雅久

あいづまちなか アートプロジェクト2022

2022年10月1日(土)～11月6日(日)

会場：会津若松市文化センター

会津若松市歴史資料センターまなべこ

松本家蔵

ギャラリー・アブドウ

會津稽古堂

野口英世青春広場 など

あいづまちなかアートプロジェクト2022 (会津・漆の芸術祭×まちなかピナコテカ)開催概要

市内の歴史的建造物やギャラリー、公共施設などを展示会場に、会津の文化資源である「漆」をテーマとした「会津・漆の芸術祭」と、会津にゆかりのあるアーティストの作品などを紹介する企画（まちなかピナコテカ）、「とまりぎ美術館で待ちあわせ」を融合させた文化芸術事業として、「あいづまちなかアートプロジェクト2022」を開催しました。

会期 令和4年10月1日(土)～11月6日(日) 37日間

会場 市内中心部の歴史的建造物や蔵・公共施設など、13ヶ所

入場 無料

主催 あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会

委員長 会津若松市長 室井照平

共催 会津若松市、会津若松市教育委員会

助成 福島県森林環境交付金事業、公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団、公益財団法人朝日新聞文化財団

協賛 (株)栄町オサダ、(株)BRECE

後援 福島県、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、エフエム会津

協力 喜多方市美術館

■実施概要

展示企画会場数	13	会津・漆の芸術祭：5会場、とまりぎ美術館で待ちあわせ：8会場
展示作品数	210	会津・漆の芸術祭：146点 とまりぎ美術館で待ちあわせ：64点（うち、市収蔵作品8点）
ワークショップ、イベント	27	出前講座、ギャラリートーク、ワークショップ、イベント等

■来場者数：5,480人 うちワークショップ、イベント参加者数：980人

■会場入り込み数

主要会場名	展示タイトル	来場者数
會津稽古堂多目的ホール・市民ギャラリー	とまりぎ美術館で待ちあわせ 第1期（きっかけのとまりぎ）	908
野口英世青春広場	とまりぎ美術館で待ちあわせ 第2期（広場のとまりぎ）	1,407
まちなかの店舗	とまりぎ美術館で待ちあわせ 第2期（まちなかのとまりぎ）	562
会津若松市歴史資料センターまなべこ	うるし その可能性と未来、会津塗桐下駄プロジェクト作品展示	855
松本家蔵	うるし その可能性と未来	258
ギャラリー・アブドゥ	うるし その可能性と未来・現代漆芸作家展「紅蓮」「翁」	249
会津若松文化センター	会津工芸新生会展・板倉巴紋蒔絵鞍籠の展示	261
ワークショップ、出前講座など	様々なイベントを実施	980

※監視員等によるカウントによる。

会津・漆の芸術祭によせて

あいづまちなかアートプロジェクト「会津・漆の芸術祭」にかかわらせていただき10年目となりました。産地の魅力、手仕事の力、あらゆる漆の創作を伝えたいと願い、近年は会津若松市にゆかりのあるテーマに基づき様々な視点から漆文化の魅力を示してきました。これまで協力いただいた、会津漆器を支える皆さん、大学等で漆芸教育に携わる先生方や学生の皆さん、創作活動を通して漆の力を表現する美術作家の皆さんに心から感謝申し上げます。いつの時代も文化や産業に先進性を持って取り組んできた会津は懐の深い漆器産地であり、未来の漆文化を創出できる場だと思います。これからも会津に集い、漆の魅力を発信するために、あらゆる可能性を求めて皆さんと意見を交わしていきたいと思ひます。

会津大学短期大学部 産業情報学科教授 井波 純



漆は、古くから会津の地で守り伝えられてきた文化資源です。この財産を未来へ伝承し続けていくため、今年で10年目となった会津・漆の芸術祭では、漆のアート作品に光をあてながら、漆そのものの魅力だけでなく、漆とともに生きている地域の歴史・文化・芸術の素晴らしさを伝え、将来を担う若者の人材育成と次世代への文化の継承を目指しました。

また、会津若松市の代表的な伝統工芸である漆器産業の発展のため、県の森林環境交付金を活用して、本市農林課は大戸町



南原へ新たなウルシ団地整備のため植樹活動を行っています。平成28年度に50本の苗木を試験植栽してから、将来の林業従事者の育成や会津の伝統産業として漆文化の継承につながることを目指して、会津農林高等学校や漆工芸を学ぶ会津大学短期大学部の学生の協力を得ながら今まで2,000本以上の苗木を植栽しました。15年後、その苗木から会津産漆が取れることを願っています。



参加いただいた皆様からのメッセージ

10年目となる会津・漆の芸術祭に作品を出品いただいた皆様から、メッセージをいただきました。

会津では「漆器」と「桐製品」が古くからの地場産品として知られています。「漆器」は安土・桃山時代にまで遡るほど歴史は古く、また、「桐」も会津は良質な材の産地として有名であり、タンスや下駄等の生産を行ってきました。これらの地場産品は江戸から明治、大正、昭和と、身近な生活の道具として活用されてきており、歴史的にも庶民の「生活様式」や「文化水準」を顧みる貴重な資料ともなっています。今回、その「漆」と「桐」をマッチングさせた「蒔絵下駄」を製作することで、全国的にも一世を風靡した会津の地場産業の素晴らしさやそれを手掛けた先人達の想いを少しでも「今」の社会に伝えられればと思っております。

須藤 靖典

会津塗技術保存会 会長

会津塗桐下駄プロジェクト



増山 明恵

会津大学短期大学部 非常勤講師

うるし その可能性と未来

初めて会津・漆の芸術祭に参加した際、とにかく印象的だったのは歴史的・文化的な建物と様々なタイプの展示作品が一体となり、不思議な魅力のある空間を作っていることでした。また、街歩きを楽しみながらの鑑賞にも心が弾んだことを覚えております。

近年のコロナ禍において、活動を継続することは決して容易なことではなかったと思われまます。そのような中でも漆の芸術祭を継続し、10年目を迎えられましたことを非常に喜ばしく思います。伝統と未来の可能性を併せ持つ漆の魅力を発信するこの芸術祭が、今後もより多くの人の心を潤すことを願います。

今年、10回目を迎えるあいづまちなかアートプロジェクト、私は富山大学教員として、第1回から皆勤で参加させて戴いています。会津・漆の芸術祭「うるし その可能性と未来」は、全国の漆工芸を教育する高等教育機関から作品を集め、会津若松の街中に展示をするという企画で、石川県輪島漆芸美術館で行われる「生新の時」と並び、全国の漆工芸の高等教育の成果を一堂に見られる貴重な機会となっています。

この事業の中でも特に素晴らしい企画が関連事業として行われている「真夏の漆塾」です。会津漆器の独特な技法（鉄錆塗、朱磨き、消粉蒔絵等）を、その道のプロ中のプロである職人さんから実技を通して学ぶという、合宿の勉強会です。ここ数年、コロナ禍の影響で開催が見送られていますが、早くの復活を望みます。

高橋 誠一

富山大学 教授

うるし その可能性と未来



いらはら みつみ

漆芸作家

現代漆芸作家展「紅蓮」「翁」

会津・漆の芸術祭には「あいづまちなかアートプロジェクト」が始まる前からおつきあいがあり、その間にさまざまな方と出会わせて頂きました。その一人一人と今も繋がっていることを嬉しく思っております。同プロジェクトの素晴らしいところは、伝統工芸から日常使いの器まで幅広い分野の作家が参加できること。そして教師・学生・作家・職人など多方面の立場の方が出展できること。これは全国でも珍しいたいへん意義のある特長です。10年という節目を迎えた今、新風を入れながら更なる発展ができるように、微力ながらご協力ができればと思っております。

うるし その可能性と未来

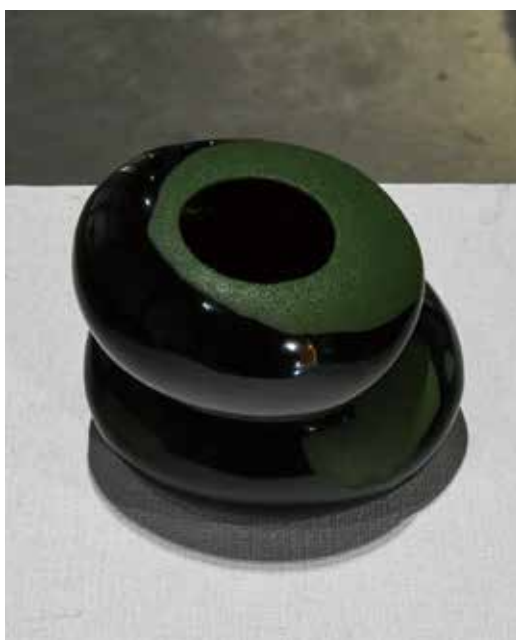
期間 10月1日(土)～
11月3日(木・祝)
会場 松本家蔵



松本家蔵には、富山大学、筑波大学、京都市立芸術大学、広島市立大学の教員と学生を中心とした瑞々しい感性溢れる作品を展示しました。



■富山大学



乾漆花器 生命のちから：高野美咲



夜があけるまで：松宮菜美子

漆芸を学ぶ全国の11大学の協力をいただいた「うるし その可能性と未来」の展示では、市内3会場で漆の特色を活かした個性的なアート作品をご覧いただきました。歴史を刻んだ古い蔵、ギャラリーなどの展示空間と、素晴らしい感性によるアートの融合は、漆の新しい魅力と可能性を今年も示してくれました。

「うるし その可能性と未来」(3会場)

協力大学 会津大学短期大学部、秋田公立美術大学、宇都宮大学、沖縄県立芸術大学、金沢美術工芸大学、京都市立芸術大学、筑波大学、東京藝術大学、東北芸術工科大学、富山大学、広島市立大学



alive : 村松耶々子



漆の大皿 : 高橋誠一



平文小箆筒 : 小川太郎



乾漆螺鈿合子「三羽の天道虫」: しんたにひとみ





偽りの威：織田峻太郎



文箱：西澤かれん



パンはパンでも 3：柴田紗英

■筑波大学



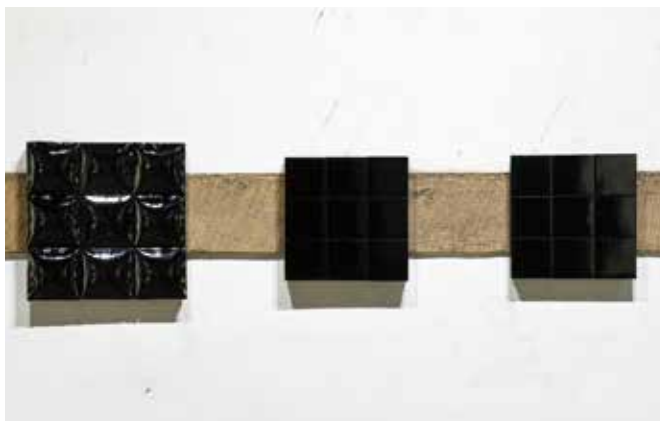
縷々：原詩音



螺鈿 2022：宮原克人



よじ登りペンギン：原心里



習作：高橋呼春



鯛B：川島史也



野辺に捧ぐ：沢辺裕子



手のマスク：會澤優花



ロボットのおもちゃ：太田明理紗



■ 京都市立芸術大学



風を盛る：大矢一成



模倣者：吉村優理



「ひろいものずかん」：兒玉梨香子



百味漆パズル：京都市立芸術大学こどもうるし生活プロジェクト同



筆陣図：呉雯雯



漆鏡「壁虎」：小峰花香



櫛：酒井日向



■ 広島市立大学



「シルエット」：張敏



風：ZHAO YUE



融合 I：封帆



溜塗塗鞘短刀拵：富攄慧



花紋乾漆器：青木伸介



ナンテン：藤田薫



元：任金来



花と夢：LIU YUFAN

うるし その可能性と未来

期間 10月1日(土)～
10月30日(日)
会場 ギャラリー・アブドウ



ギャラリー・アブドウでは、東京藝術大学、宇都宮大学、金沢美術工芸大学、沖縄県立芸術大学の教員と学生の方々の作品を展示しました。



■ 東京藝術大学



蒔絵パネル「Koblenz への道」：小椋範彦



守箱 ふんころがし：青木宏憧



乾漆蒔絵箱「うらひとま」：田中館亜美



Scotoma：佐々木岳人



乾漆蒔絵飾り箱 白雨：新井寛生



Suite Metamorphose -Scherzino-：伊藤ミナ子

■ 宇都宮大学



flames-I : 松島さくら子



地球のかけら : 星温美



鍵っぼの子たち : 阿久津まみ





貪瞋痴：六角春香

■ 金沢美術工芸大学



かたちI：晁男



犀皮人形器：蔣先財



多くを失えども：白濱真理子



■ 沖縄県立芸術大学



ハルノヨ：島袋香子



花びら：吉田舜乃



ティーダアミ：野口萌花



糜爛：内村介終



ベタ：前田美海



星影：高嶺瑞貴



乾漆盛器「満」：宮平京弥



乾漆皿：又吉紘士



色貝蒔絵飾篭「南」：松崎森平



琉球漆芸（堆錦・沈金・箔絵・密陀絵）：
内田愛季、瓜生田大紀、鎌田ひかる、児玉夏菜、藤田雅也



たからばこ：知花みのり

うるし その可能性と未来

期間 10月1日(土)～
11月3日(休・祝)
会場 会津若松市歴史資料
センターまなべこ



会津若松市歴史資料センターまなべこの企画展示室に東北地方の漆芸系大学3校（東北芸術工科大学、秋田公立美術大学、会津大学短期大学部）の教員と学生の皆さんの作品を展示しました。



■ 東北芸術工科大学



乾漆水指 -STAR- : 松本由衣



細氷(左)・粉雪(右) : 白幡京香



かたち：高橋あみ



相馬相愛：斎藤睦姫

■ 秋田公立美術大学



絞曲椀（左）・絞曲皿（右）：石田千秋



変塗蒔絵螺鈿箱「タカネスミレ」：熊谷晃



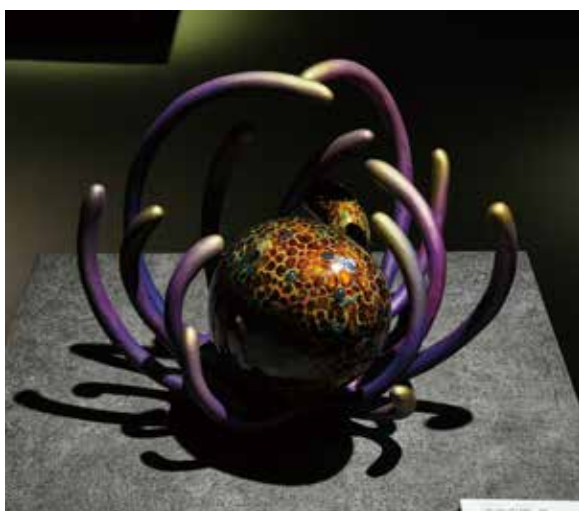
■ 会津大学短期大学部



漆組器「悠かなる祈り」：井波純



飾：戸田日向子



宇宙の卵Ⅲ：増山明恵



蒔絵螺鈿宝石箱「立葵」：吾子可苗



長旅：田中朱津



ideal：藤岡莉子



荔枝の実：山田倭華



縄文：笠間太呂

起き上がり小法師 プロジェクト

期間 10月1日(土)～
11月3日(木・祝)
会場 会津若松市歴史資料
センターまなべこ



「七転び八起き」の精神の象徴として、漆塗りの起き上がり小法師をアートプロジェクト協力大学の皆さんに制作いただきました。

参加大学 会津大学短期大学部、宇都宮大学、沖縄県立芸術大学、京都市立芸術大学、筑波大学、東北芸術工科大学、富山大学、広島市立大学



会津大学短期大学部



宇都宮大学



沖縄県立芸術大学



筑波大学



京都市立芸術大学



富山大学



東北芸術工科大学



広島市立大学



360度カメラによる展示会場動画

新型コロナウイルス感染症の影響で、なかなか展示会場へ足を運べない方にも楽しんでいただくため、会津大学短期大学部の横尾誠准教授の協力のもと、「うるし その可能性と未来」の3会場の360度動画を編集いただきました。YouTubeでご覧いただけますので、会場の雰囲気をご体験ください。

あいづまちなかアート
プロジェクト動画集



第58回会津工芸新生会展

期間 10月7日(金)～
10月12日(水)
会場 会津若松市文化センター

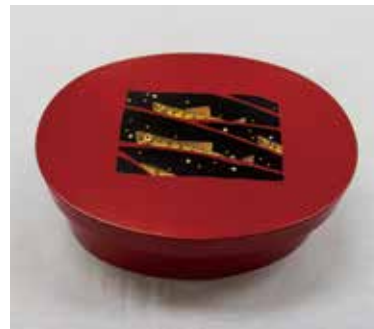


会津地方を中心に活動し、50年以上の歴史を誇る会津工芸新生会の会員による「漆芸」「陶芸」「七宝」などの作品を展示しました。

協力 会津工芸新生会



きざし：井波純



本朱曲輪弁当：大澤周一



彩椀（山女魚図）2客：大澤周一



丸器（草花蒔絵）：大澤周一



喰籠（清流）：大澤周一



三つ足の器：大竹信一



宝相華文フリーカップ：大竹信一



ペアぐい呑み 大竹信一



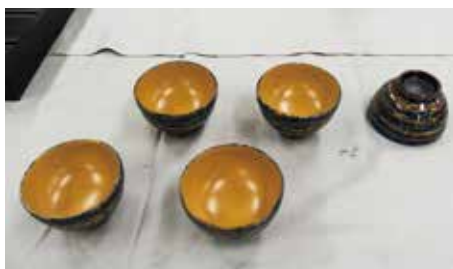
会津絵ぐい呑み：大竹信一



黒漆長角 パーティーセット：大森茂光



青彩ボール 1個：大森茂光



青彩 椀 5個：大森茂光



古代朱六角皿 2枚：大森茂光



拭き漆皿 1枚：大森茂光





宙：大和田康文



京の夜：大和田康文



溜二段弁当：賀川義宜



小判菓子皿：賀川義宜



有線七宝蓋物「うすみどり」：
後庵野かおり



有線七宝蓋物「枝先に春」：
後庵野かおり



名刺入れ 木漏れ日：国分幸一



名刺入れ 鉄錆絵内消し蒔絵：国分幸一



名刺入れ 花模様：国分幸一



名刺入れ 黒：国分幸一



名刺入れ 本朱：国分幸一



名刺入れ タメ：国分幸一



七寸皿 金箔研ぎ出し蒔絵 3 枚：小林弘和



台付入隅三段重 会津絵：小松茂夫



鉄錆塗鉢 龍：小松茂夫



蒔絵水差「旅」：佐藤達夫



螺鈿片口 酒器揃：佐藤達夫



和紙貼角皿 (5 枚)：佐藤達夫



色絵椿文 角花入：佐竹敦夫



白椿文角皿：佐竹敦夫



白椿文 葉形皿：佐竹敦夫



赤椿文 葉形皿：佐竹敦夫



白瓷白鳥瓶：佐竹伸也



花器：佐竹伸也



オブジェ 自空壺：佐竹伸也



花器：佐竹伸也



花器：佐竹伸也



小箱「椿」：照井克弘



小箱「猿蜂」：照井克弘



小箱 錆絵「ブドウ」：照井克弘



瑠璃水差：宗像利浩



碧映：渡辺雅旺



花器 空と雲：渡辺雅旺



壺 白容：渡辺雅旺



赤い皿：渡辺雅旺



白いつぼ：渡辺雅旺



会津塗桐下駄プロジェクト の展示

期間 10月1日(土)～
11月3日(木・祝)
会場 会津若松市歴史資料
センターまなべこ



会津塗技術保存会の作り手の皆さんが、会津の桐下駄を漆塗りで仕上げる制作プロジェクトに取り組みました。完成した桐下駄と会津塗技術保存会の会員による作品を展示しました。なお、会津塗桐下駄プロジェクトの詳細な記録は73ページからの報告書をご覧ください。

協力 会津塗技術保存会





会津型梅文様小町下駄：(塗) 大森弘・(蒔絵) 佐藤直樹



桜文様木地蒔絵駒下駄：(蒔絵) 照井克弘



梅文様鉄錆千両下駄：(蒔絵) 小松茂夫・神郁江



唐子漆絵千両下駄：(塗) 大森弘・(蒔絵) 大竹信一



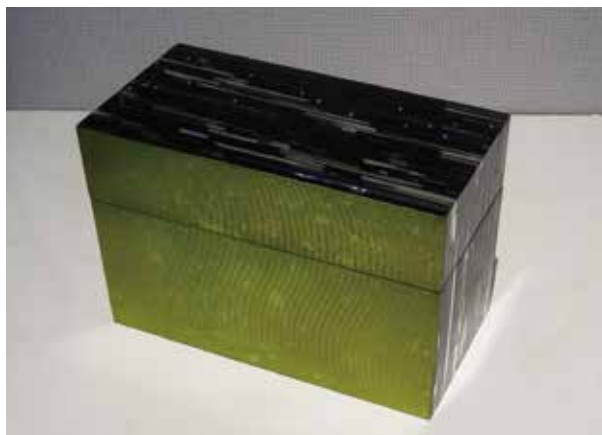
秋草消蒔絵千両下駄：(蒔絵) 小松茂夫



花塗駒下駄：(塗) 大森弘



桐下駄図案



蒔絵 漆箱「育む」：須藤靖典

現代漆芸作家展「紅蓮」「翁」

期間 10月1日(土)～
10月30日(日)
会場 ギャラリー・アブドゥ



東京藝術大学出身の漆芸作家いらはらみつみ氏の作品を展示しました。

「紅蓮」 猛火の炎の色と言われる「紅蓮」。人の心は時として「紅蓮」に染まることもある。それは、情念の淵に立った者にしか見えない炎なのだろう。

「翁」 能「翁」の舞台。白い面をつけた「翁」が退場すると「三番叟」が躍り出、やがて黒い面をつける。

「三番叟」は「黒い翁」となり、語ることを許されない「白い翁」の代弁をするかのように、自らの運命を語りつづける。

協力 いらはらみつみ



「翁」



「紅蓮」



板倉巴紋蒔絵鞍鐙の展示

期間 10月7日(金)～
10月12日(水)
会場 会津若松市文化センター



南相馬市小高区の板倉好幸氏が東日本大震災を契機に会津地方に移り住んで11年。板倉氏の希望により、3年という歳月をかけて会津漆器の職人がリニューアルした板倉氏所有の鞍と鐙を展示しました。

協力 板倉好幸、(監修) 須藤靖典、(塗り) 大森康弘、神郁江、(蒔絵) 佐藤淳



SL 会津只見号ヘッドマークの展示

期間 10月1日(土)～11月3日(木・祝)
会場 JR会津若松駅

2011年7月の「新潟・福島豪雨」で被災し、一部が不通になったJR只見線が、11年ぶりに全線運転が再開されることを記念して、2010年10月30日・31日の2日間だけSL会津只見号に取り付けられた漆塗りのSLヘッドマーク「金彩朱磨会津桐文」を展示しました。

協力 井波純、吾子可苗



漆の出前講座

開催日・会場 ①7月4日(月) 第二中学校 ③8月30日(火) 城南小学校
 ②8月26日(金) 行仁小学校 ④9月1日(木) 日新小学校

会津大学短期大学部（地域活性化センター）の井波教授の協力のもと、市内小中学校で伝統産業である会津漆器と原料となるウルシについての出前講座を開催しました。ウルシとは何か、ウルシや会津漆器の歴史をクイズを交えながらお話いただき、漆器の産地である会津若松市についての理解を深めてもらいました。

協力 会津大学短期大学部（地域活性化センター）井波純

第二中学校 1年生



行仁小学校 5年生



城南小学校 5年生



日新小学校 5年生



まなべこツアー

- 開催日と参加学校**
- ① 10月4日(火) 東山小学校
 - ② 10月5日(水) 永和小学校・河東学園(前期課程)①
 - ③ 10月6日(木) 河東学園(前期課程)②
 - ④ 10月7日(金) 行仁小学校
 - ⑤ 10月12日(水) 城西小学校①
 - ⑥ 10月14日(金) 城西小学校②
 - ⑦ 10月18日(火) 一箕小学校①
 - ⑧ 10月19日(水) 一箕小学校②
 - ⑨ 10月26日(水) 城南小学校①
 - ⑩ 10月27日(木) 城南小学校②
 - ⑪ 11月4日(金) 門田小学校

会場 会津若松市歴史資料センターまなべこ 企画展示室

あいづっこ人材育成プロジェクト事業の「まなべこツアー」として、市内小学校6年生が会津若松市歴史資料センターまなべこを訪れ、会津塗技術保存会の作品をはじめ展示作品を見学しました。各回、講師として会津塗技術保存会会員の皆さんに漆や会津塗の歴史とともに作品の解説をいただきました。

協力 会津塗技術保存会



東山小学校



永和小学校



河東学園(前期課程)①



河東学園(前期課程)②



行仁小学校



城西小学校①



城西小学校②



一箕小学校①



一箕小学校②



城南小学校①



城南小学校②



門田小学校



オリジナルプリントの会津木綿で作る桐下駄

開催日 10月29日(土)
会場 會津稽古堂
美術工芸スタジオ

キラキラ光る箔プリントを加えた会津木綿を使い鼻緒を作り、自分だけの桐下駄を制作しました。

協力 東京造形大学



漆体験教室

開催日 11月3日(木・祝)
会場 會津稽古堂美術工芸スタジオ

会津漆器協同組合青年部による本漆を使用したワークショップを開催しました。ぐいのみへ摺り漆または変り塗のお箸の研ぎ出しを行いました。

協力 会津漆器協同組合青年部



とまりぎ美術館で待ちあわせ —会津若松でつちかう・美術館がある風景—

期間 2022年10月8日(土)～12日(水)
2022年10月15日(土)～11月6日(日)

会場 會津稽古堂(会津若松市栄町3-50)
野口英世青春広場(会津若松市中町1-23)
会津若松市内の店舗



会津若松市内には博物館や作品を展示することができるスペースはありますが、公立の美術館はありません。美術館というと「作品が飾ってある場所」や「立派な建築」などをイメージされるかもしれませんが、近年、美術館の在り方は変化し続けています。地域に根ざし、地域とともに様々な活動に取り組んだり、人の出会いや交流を創出したりする、そんな美術館のスタイルが増えています。

これからの美術館について、みなさんとともに考える機会となるよう、2021年に初めて「なかにわ美術館で待ちあわせ —会津若松ではぐくむ、美術館がある風景—」を開催しました。この取組を受けて、2022年4月に有識者や市民のみなさまに参加いただき、事業の企画検討・運営等を行う新たな部会「アートで人とまちをつなぐ部会」を立ち上げました。月1回程度開催する会議では、部会自体の目的や今年の事業について話し合いを行い、昨年に引き続き美術館の在り方を考えるきっかけづくりとして、期間限定の展覧会を開催することになりました。

今回の展覧会のコンセプトは、誰もが集える「まちなかの居場所」＝「とまりぎ」です。

「とまりぎ美術館」では、各会場をとまりぎに見立て、「である」、「つながる」、「そうぞうする」をみどころ・ポイントに、会津にゆかりのある10人の作家と市収蔵美術作品のコラボレーションや作家の滞在制作、湊中学校とアーティストとの共同制作作品などを紹介しました。

2つの会期に、「きっかけのとまりぎ」、「広場のとまりぎ」、「まちなかのとまりぎ」の大きく3つのエリアに分けて展示やワークショップを行い、市民のみなさまや県内外からの観光客など、全期間をとおして2,877人の来場者で賑わいました。また、滞在制作する作家と話をしたり制作の様子を目の前でご覧いただきました。

今回の展覧会では、アートを紹介した新たな出会いやそこで生まれる大切な何かを共有しながら、まるで鳥になったように各会場を巡っていただき、誰かにとってとまりぎのような「居場所」となりうる、これから求められる美術館の一つの在り方を表現する機会となりました。



**とまりぎ美術館で待ちあわせ
—会津若松でつちかう・美術館がある風景—
開催にあたって**

あなたにとって、とまりぎのような「居場所」はどこですか？
とまりぎは鳥が羽を休めたり、仲間たちと交流したりする場所です。

会津若松市内には博物館や作品を展示することができるスペースはありますが、実は公立の美術館はありません。そこで今回、「とまりぎ」に見立てた美術館が期間限定でうまれます。

美術館とは、ただ「作品がある場所」だけでなく、作家や観の誰かとお会ったり、知らない自分に出会ったりすることができる場所でもあります。また、地域に根ざした様々な活動に取り組んだり、出会いや交流を創出したりする、誰かの居場所にもなりうる場所だと思います。

会津若松で日々、育まれている様々な文化、そして、ひと。

自由に「とまりぎ」をめぐる。そして、誰かと「待ちあわせ」を試してみてください。その中で、まだ見ぬ誰かやこれまで気づかずにいた何かと出会うことが、また会津の文化をつちかうことにつながっていくのではないのでしょうか。

多様な「とまりぎ」が、みんなで大切なことを共有していくひとつの機会になることを願います。



ディレクター 伊藤達矢 (東京藝術大学 社会連携センター)

キュレーター 大政愛 (はじまりの美術館)

広報物デザイン ノガワアイ

会場構成デザイン アサノコウタ

MAPデザイン 藤城光

主催 あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会

協力 会津若松市立行仁小学校、会津若松市立湊中学校、猪苗代町立緑小学校、
NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク、社会福祉法人会津療育会 障がい者支援施設アガッセ、
社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館、湊かたりべの会、会津美術協会

「とまりぎ美術館で待ちあわせ」Instagram

<https://www.instagram.com/tomarigi.aizu/>



■ 第1期 きっかけのとまりぎ

「きっかけのとまりぎ」では、会津にゆかりのある10人の作家による表現や、会津若松市収蔵美術作品など約60点の作品を展示し、会期中1番多くの作品を見ることができる会場となりました。

また、ギャラリートークを開催し、どなたでも気軽に参加できる形で展覧会を巡りながら、出展作家のみなさんや本展キュレーターが作品や活動のことについてご紹介しました。

会 期 2022年10月8日(土)～12日(水) 10:00～18:00 ※会期中無休、最終日は15:00まで

会 場 會津稽古堂 市民ギャラリー・多目的ホール

入 場 料 無料

出展作家 浅野友理子、川合南菜子、佐藤香、鈴木一郎、高橋克幸、馬場泰、halo、Kengo hirano、銚井喬、長嶺キミ + 会津若松市収蔵作品 (春日部たすく、斎藤清、佐藤辰治、鈴木亮平、渡部百合子)

連動企画 子どもたちとアーティストによる特別企画「湊に伝わるものがたり」作品展示

来場者数 908人



〔 出展作家 〕

浅野 友理子

1990年宮城県生まれ、在住。東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科修士課程修了。食文化や植物の利用を切り口に様々な土地を訪ねている。猪苗代や喜多方に滞在したことがある。



浅野友理子 × 渡部百合子
《憩う庭》 × 《憩う女》

川合 南菜子

絵描き。1996年茨城県生まれ。東北芸術工科大学芸術学部美術科日本画コース卒業後、喜多方市に移住。人々の生活の営みをテーマに、墨を使い描く。2021年開催の「なかにわ美術館で待ちあわせ」では来場者の「妄想」を元に「美術館建立妄想絵巻」を滞在制作した。



《絵画の呼吸》

佐藤 香

現代美術家。1987年福島県田村市生まれ、在住。東京藝術大学壁画専攻修了。主に日本各地のアートイベントで滞在制作し、その土地の土・炭・植物など身近な素材を絵具または空間演出として使用している。これまで猪苗代、喜多方、西会津、北塩原村等で滞在制作を実施。



佐藤香 × 春日部たすく
《山で生きている》 × 《山沼花》

鈴木 一郎

1943年喜多方市生まれ、会津若松市在住。1996年ごろからリハビリを兼ねて病院で絵を描く。1998年から、現在生活をしているアガッセで過ごしはじめる。当初は写真や雑誌などを見て人物を描くことが多かったが、近年は何も見ずに思い浮かんだ風景などを何日もかけて描く。



高橋 克幸

1990年会津若松市出身・在住。東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻洋画領域を修了。二紀会、会津美術協会に所属。国内のみならずマドリッド、ボストンでも展示を開催。大学院の研究テーマは「コミュニケーションを基にした絵画制作」で人とお話しするのが好き。



渡部百合子 × 高橋克幸
《集落》 × 《近所》

馬場 泰

1955年南会津郡南郷村（現南会津町）生まれ、会津若松市在住。新潟大学教育学部を卒業後、教員として勤めながら制作を続け、発表はおもに二紀会展のほか、会津総合美術展、福島県総合美術展に出品。自身の日常生活での思いや想像をモチーフに、独特のイメージで具象化させカラフルな色彩で描かれている。



渡部百合子 × 馬場泰
《生・赤》 × 《ボク》

halo

1979年河沼郡会津坂下町出身・在住。25歳のときに、ロックポスターの作品集を見て絵を描きはじめる。主に使用する画材は鉛筆のみ。北塩原村にある「Rotten Row Coffee Roasters」の外壁や看板を制作するなど、飲食店とのコラボレーションも多い。



斎藤清 《朝市パリ》 ×
halo 《パーティー 夜更》

Kengo hirano

1984年会津坂下町出身、会津若松市在住。絵描き。2019年から俗語で「素敵な」「素晴らしい」をさす「KILLER」をテーマに、FRANK、POPをコンセプトとし、商店、アーティスト、アパレル等にデザインを提供。東山にLem制作室という拠点を構えている。



Kengo hirano × 斎藤清
《落ち葉》 × 《秋模様》

銚井 喬

1984年神奈川県出身、福島県北塩原村在住。美術作家。学生の頃、人力飛行機サークルで鳥人間コンテストに参加し、パイロットとして空を飛ぶ。気付かないほどのわずかな風に巨大な人力飛行機が翻弄された体験から風に興味を持ち始め、それ以降風をテーマに作品を作り始める。



《Windgraph ～風の見てきた景色2011+11～》

長嶺 キミ

1939年大沼郡会津美里町生まれ、会津美里町在住。武蔵野美術学校卒業後、福島県教職員となる。教職を退職し、詩作と洋画制作に専念する。二科展常連の女流画家で、会津美里町で洋画サークル「つくし会」を主宰する。



佐藤辰治 × 長嶺キミ
《丘の上の貝》 × 《窓》

〔 会津若松市収蔵美術作品 〕

「とまりぎ美術館で待ちあわせ」では、会津ゆかりの作家が市収蔵美術作品の中から気になる作品を1つ選び、その作品からインスピレーションを得て制作した新作や既存の作品を展示しました。

- 春日部 たすく
1903年～1985年。北会津郡高野村（現：会津若松市）出身。
- 斎藤 清
1907年～1997年。河沼郡坂下町（現：会津坂下町）出身。
- 佐藤 辰治
1916年～1963年。田村郡小野新町（現：田村郡小野町）出身。
37歳で本市に転居。
- 鈴木 亮平
1914年～1999年。東京都出身。
福島県立会津工業学校（現：福島県立会津工業高校）に赴任。
- 渡部 百合子
1907年～1998年。北海道小樽市出身。
会津若松市出身の渡部菊二と結婚。



鈴木亮平 《野良の秋》



春日部たすく 《山沼花》

〔 滞在制作 〕

高橋克幸さんに滞在していただき、會津稽古堂の窓ガラスに専用のクレヨンで作品を制作していただきました。子どもたちと描く場面もありました。



《We are forest》

〔 ギャラリートーク 〕

日時 第1回 2022年10月8日(土) 13:00～14:00
 第2回 2022年10月12日(水) 13:00～14:00
会場 會津稽古堂 市民ギャラリー・多目的ホール
入場料 無料(事前予約不要)

スピーカー

第1回(10月8日)

浅野友理子、高橋克幸、Kengo hirano(本展出展作家)、
 ノガワアイ(本展広報デザイン)、
 伊藤将和(湊中学校ワークショップコーディネーター)、
 大政愛(本展キュレーター)

第2回(10月12日)

川合南菜子、佐藤香、高橋克幸、馬場泰、長嶺キミ
 (本展出展作家)、
 アサノコウタ(本展会場構成デザイン)、
 大政愛(本展キュレーター)



●キュレーター

本展のキュレーションは、猪苗代町にある「はじまりの美術館」の学芸員 大政愛さんが行いました。



●会場構成デザイン

福島市在住の建築家アサノコウタさんにとまりぎをイメージした小屋状の展示壁や、回遊性を意識した構成をデザインしていただきました。



●広報物デザイン

会津若松市在住のイラストレーター・デザイナー ノガワアイさんに制作していただきました。

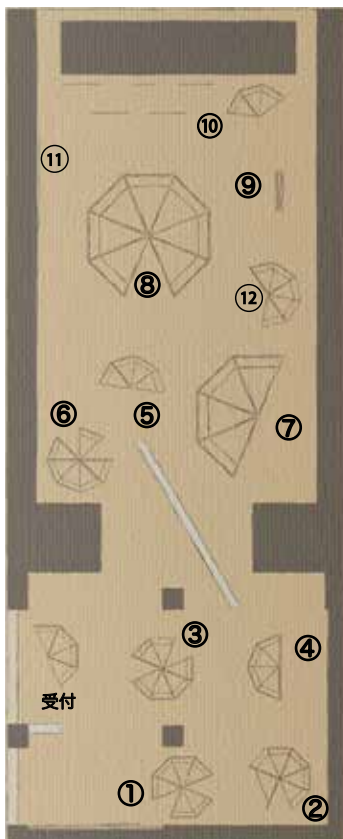


〔 ワークショップ・BOOKコーナー 〕

第1期、第2期
 とおして3つの
 ワークショップを
 行いました。



とまりぎ美術館で
 待ちあわせ
 会場図



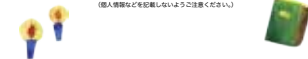
- 1、馬場泰
- 2、高橋克幸
- 3、鈴木一郎
- 4、浅野友理子
- 5、川合南菜子
- 6、halo
- 7、Kengo hirano
- 8、長嶺キミ
- 9、銚井香
- 10、佐藤香
- 11、湊中学校生徒
 +佐藤香
- 12、ワークショップ
 コーナー

とまりぎ美術館で待ちあわせ/ワークショップ1

「ノートに書いてみよう・読んでみよう」

さまざまな言葉が表紙に描かれているノート、
 きになったノートに絵やことばを書いてみよう。

(個人情報などを記載しないようご注意ください)



とまりぎ美術館で待ちあわせ/ワークショップ2

「作者のひとへ、手紙を書こう」

展覧会や作品を見ての感想やメッセージ、
 質問や気づきなど、
 お手紙にして伝えてみてください。
 どなたへの手紙か、宛名をお忘れなく。

(書いての手紙は、ポストに入れてください。会期終了後に作品の箱へお返しいたします。)



とまりぎ美術館で待ちあわせ/ワークショップ3

「次に、とまりぎ美術館に来るだけのために、
 手紙を書こう」

質問してみたいこと、話してみたいこと、
 自分の気になった作品など、
 次の「だれか」のために手紙を書いてみてください。

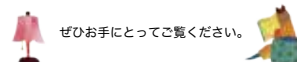
(例:「どんな作品が好きですか」、などの質問や、「この作品がおすすめです」などのメッセージ)



とまりぎ美術館 BOOK コーナー

「とまりぎ美術館で待ちあわせ」開催にあわせて、
 TSUTAYA BOOK STORE AIZUの書店員さんに
 「とまりぎ美術館」をイメージした本を
 選書していただきました。

ぜひお手にとってご覧ください。



■ 第2期 広場のとまりぎ

「広場のとまりぎ」では、「きっかけのとまりぎ」から一部抜粋された作品たちを紹介しました。また、川合南菜子さん、佐藤香さん、高橋克幸さんの滞在制作により屋外に新たな作品を制作していただきました。

会 期 2022年10月15日(土)～11月6日(日) 10:00～16:00 ※会期中無休

会 場 野口英世青春広場（福島県会津若松市中町1-23）

入 場 料 無料

出展作家 浅野友理子、川合南菜子、佐藤香、鈴木一郎、高橋克幸、馬場泰、halo、Kengo hirano、銚井喬、長嶺キミ

来場者数 1,407人



〔 滞在制作 〕

●佐藤 香 《山で生きている》

10月15日(土) 10:00 ~ 13:00
 10月16日(日) 10:00 ~ 16:00
 10月17日(月) 10:00 ~ 16:00
 10月18日(火) 10:00 ~ 12:00



●高橋 克幸 《our village》

10月19日(水) 10:00 ~ 16:00 10月28日(金) 10:00 ~ 16:00
 10月20日(木) 10:00 ~ 16:00 11月 2日(水) 10:00 ~ 16:00
 10月21日(金) 10:00 ~ 16:00 11月 3日(木) 10:00 ~ 16:00
 10月26日(水) 10:00 ~ 16:00 11月 4日(金) 10:00 ~ 16:00
 10月27日(木) 10:00 ~ 16:00



●川合 南菜子 《展覧会の痕跡》

10月16日(日) 13:00 ~ 16:00
 10月22日(土) 10:00 ~ 16:00
 10月23日(日) 10:00 ~ 16:00
 11月 5日(土) 10:00 ~ 16:00
 11月 6日(日) 10:00 ~ 16:00



〔 ポップアップ出店 〕

野口英世青春広場にOPEN予定の“PonoLea Coffee”さんに土日を中心に出店いただきました。本展をイメージした2種類のスペシャルブレンドホットコーヒーで秋空の下ひと際おしゃべりが弾みました。



〔 コミュニケーター 〕

会期中は会津美術協会のみなさんが、本展での出会いをつなぐ橋渡し役となる“コミュニケーター”として、ご活躍いただきました。寒さが厳しい日もありましたが、温かいおもてなしの心で来場者を迎えていただきました。



■第2期 まちなかのとまりぎ

「まちなかのとまりぎ」では、「きっかけのとまりぎ」から一部抜粋された作品のうち、会津にゆかりのある作家たちが市収蔵美術作品にインスピレーションを受けて制作した新作を中心に展示しました。また、会場となった各店舗には、作品をみて感じた色のシールを貼って「まちなか」を彩るミニワークショップコーナーも設けました。

会 期 2022年10月15日(土)～11月6日(日)

会 場 会津若松市内の参加店舗6店

入 場 料 無料

出展作家・参加店舗 浅野 友理子@福西惣兵衛商店(大町一丁目1-45 / 9:30～17:30)
 鈴木 一郎@marusa(中央一丁目1-20 / 10:00～18:00)
 高橋 克幸@松坂屋商会(東栄町3-40 / 8:45～17:30)
 馬場 泰@写真とカメラサイトウ・齋藤写真館
 (栄町6-15 / 平日8:30～19:00、土9:00～19:00、日祝9:00～18:00)
 halo@栄町オサダ(中町1-4 / 10:00～18:30)
 Kengo hirano@タカハシブラザー(中町4-38 / 10:00～18:30 ※日は18:00まで)



ミニワークショップ

来場者数 562人(ミニワークショップ参加者数)



福西惣兵衛商店



marusa

栄町オサダ



松坂屋商会



写真とカメラサイトウ・齋藤写真館



タカハシブラザー

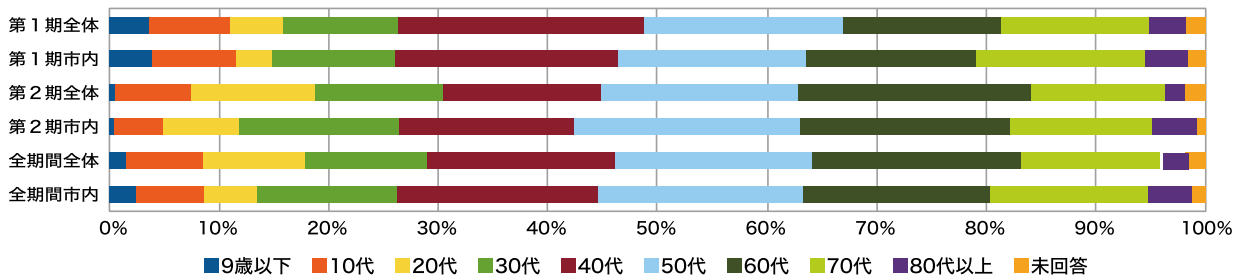
とまりぎ美術館で待ちあわせ アンケート集計

※まちなか対象外

第1期	第2期	全期間
会 期：令和4年10月8日(土) ～12日(水) 5日間	会 期：令和4年10月15日(土) ～11月6日(日)23日間	会 期：第1期+第2期=28日間
場 所：會津稽古堂 来場者：908人 アンケート回答数：384枚(回収率42.3%)	場 所：野口英世青春広場 来場者：1,407人 アンケート回答数：799枚(回収率56.8%)	左記会場の来場者：2,315人 アンケート回答数：1,183枚(回収率51.1%)

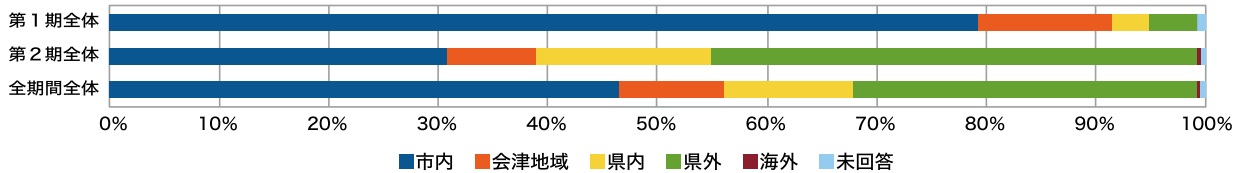
1. 年齢

%		9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
第1期	全体	3.6	7.3	4.9	10.4	22.4	18.2	14.3	13.5	3.4	1.8	100
	市内	3.9	7.6	3.3	11.2	20.4	17.1	15.5	15.5	3.9	1.6	100
第2期	全体	0.5	6.9	11.4	11.6	14.5	17.9	21.3	12.3	1.8	1.9	100
	市内	0.4	4.5	6.9	14.6	15.9	20.7	19.1	13.0	4.1	0.8	100
全期間	全体	1.5	7.0	9.3	11.2	17.1	18.0	19.0	12.7	2.3	1.9	100
	市内	2.4	6.2	4.9	12.7	18.4	18.7	17.1	14.4	4.0	1.3	100



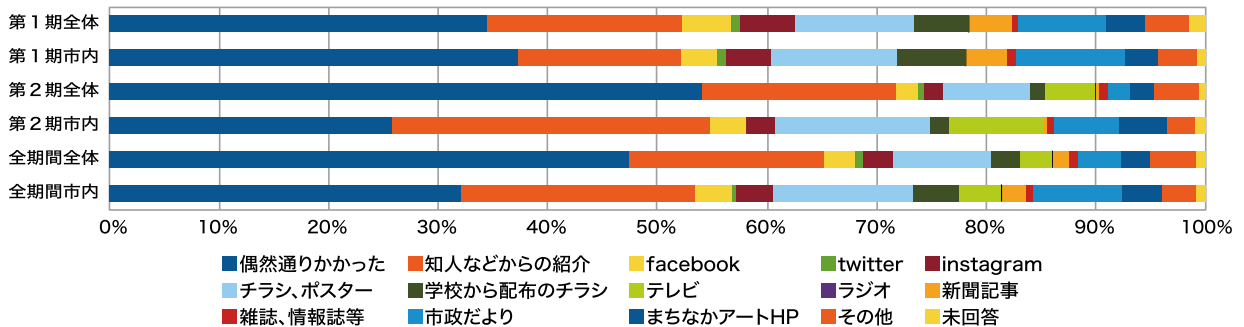
2. どこから来たか

%		市内	会津地域	県内	県外	海外	未回答	合計
第1期	全体	79.2	12.2	3.4	4.4	0.0	0.8	100
	市内	79.2	12.2	3.4	4.4	0.0	0.8	100
第2期	全体	30.8	8.1	15.9	44.4	0.3	0.5	100
	市内	30.8	8.1	15.9	44.4	0.3	0.5	100
全期間	全体	46.5	9.5	11.8	31.4	0.2	0.6	100
	市内	46.5	9.5	11.8	31.4	0.2	0.6	100



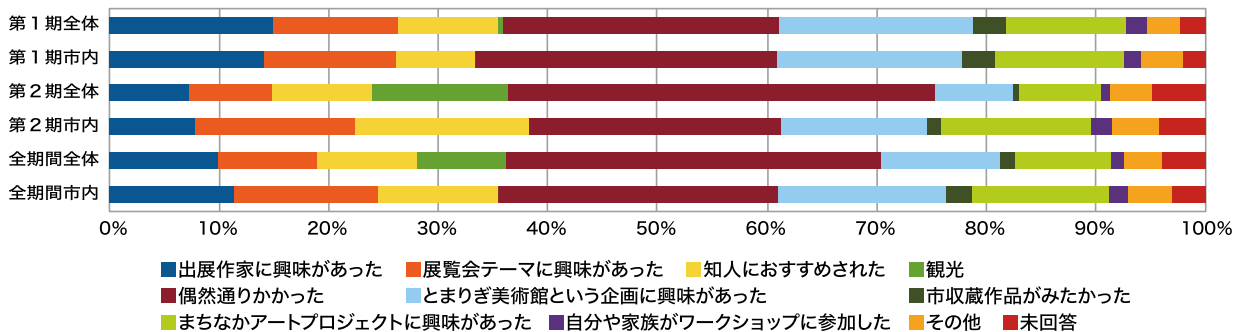
3. 展覧会を知ったきっかけ(複数回答)

%		偶然通りかかった	知人などからの紹介	facebook	twitter	instagram	チラシ、ポスター	学校から配布のチラシ	テレビ	ラジオ	新聞記事	雑誌、情報誌等	市政だより	まちなかアートHP	その他	未回答	合計
第1期	全体	34.4	17.7	4.5	0.9	5.0	10.8	5.0	0.0	0.0	3.9	0.6	8.0	3.5	4.1	1.5	100
	市内	37.3	14.8	3.3	0.8	4.1	11.5	6.3	0.0	0.0	3.8	0.8	9.9	3.0	3.6	0.8	100
第2期	全体	54.1	17.7	2.0	0.6	1.7	7.9	1.4	4.6	0.0	0.3	0.9	2.0	2.1	4.2	0.6	100
	市内	25.7	29.0	3.3	0.0	2.6	14.2	1.7	8.6	0.0	0.3	0.7	5.9	4.3	2.6	1.0	100
全期間	全体	47.4	17.7	2.9	0.7	2.8	8.9	2.6	3.0	0.0	1.5	0.8	4.0	2.6	4.2	0.9	100
	市内	32.0	21.3	3.3	0.4	3.4	12.7	4.2	3.9	0.0	2.2	0.7	8.1	3.6	3.1	0.9	100



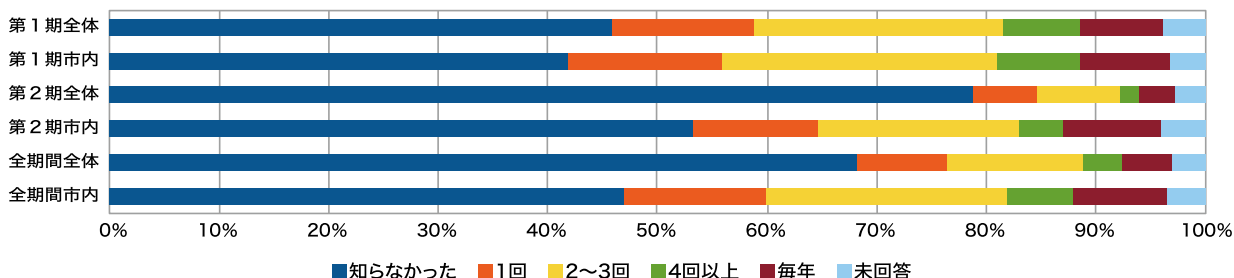
4. 来場のきっかけ(複数回答)

		%	出展作家に興味があった	展覧会テーマに興味があった	知人におすすめされた	観光	偶然通りかかった	とまりぎ美術館という企画に興味があった	市収蔵作品がみたかった	まちなかアートプロジェクトに興味があった	自分や家族がワークショップに参加した	その他	未回答	合計
第1期	全体		14.9	11.5	9.1	0.4	25.3	17.7	3.0	11.0	1.9	3.0	2.4	100
	市内		14.1	12.0	7.3	0.0	27.5	16.9	3.1	11.7	1.6	3.8	2.1	100
第2期	全体		7.2	7.6	9.1	12.4	38.9	7.1	0.6	7.4	0.9	3.8	4.9	100
	市内		7.8	14.6	15.8	0.0	23.0	13.4	1.2	13.7	1.9	4.3	4.3	100
全期間	全体		9.9	9.0	9.1	8.2	34.2	10.8	1.4	8.7	1.2	3.5	4.0	100
	市内		11.4	13.1	11.0	0.0	25.5	15.4	2.3	12.6	1.7	4.0	3.1	100



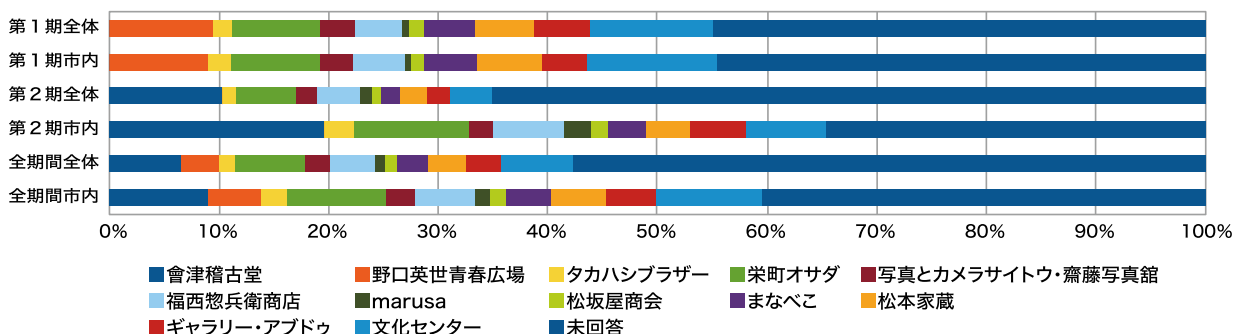
5. 昨年までに、あいづまちなかアートプロジェクトに来場した回数

		%	知らなかった	1回	2~3回	4回以上	毎年	未回答	合計
第1期	全体		45.8	13.0	22.7	7.0	7.6	3.9	100
	市内		41.8	14.1	25.0	7.6	8.2	3.3	100
第2期	全体		78.8	5.9	7.5	1.8	3.3	2.8	100
	市内		53.3	11.4	18.3	4.1	8.9	4.1	100
全期間	全体		68.1	8.2	12.4	3.5	4.6	3.1	100
	市内		46.9	12.9	22.0	6.0	8.5	3.6	100



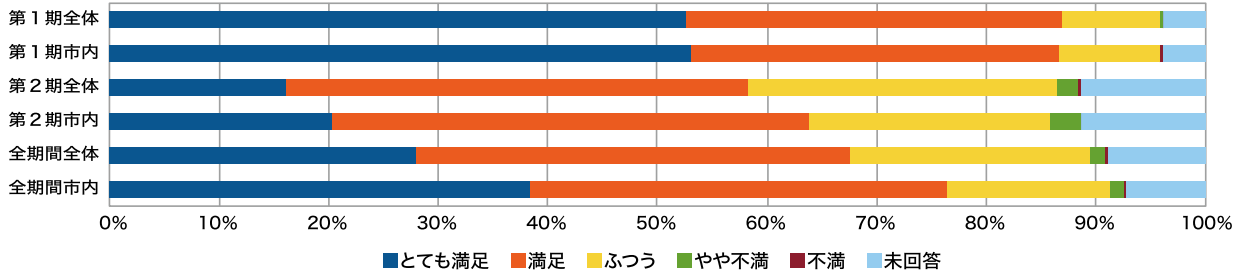
6. 今年のあいづまちなかアートプロジェクトで本会場以外で観覧した、または来館予定の会場(複数回答)

		%	會津稽古堂	野口英世青春広場	タカハシプラザ	柴町オサダ	写真とカメラサイトウ・齋藤写真館	福西惣兵衛商店	marusa	松坂屋商会	まなべこ	松本家蔵	ギャラリー・アブドゥ	文化センター	未回答	合計
第1期	全体		0	9.4	1.8	8.0	3.1	4.3	0.7	1.3	4.7	5.4	5.1	11.2	44.9	100
	市内		0	9.0	2.1	8.1	3.0	4.8	0.5	1.2	4.8	6.0	4.1	11.8	44.7	100
第2期	全体		10.3	0.0	1.2	5.5	1.9	3.9	1.1	0.9	1.7	2.4	2.1	3.9	65.1	100
	市内		19.6	0.0	2.7	10.5	2.2	6.5	2.4	1.6	3.5	4.0	5.1	7.3	34.7	100
全期間	全体		6.5	3.5	1.4	6.4	2.3	4.1	0.9	1.1	2.8	3.5	3.2	6.6	57.7	100
	市内		9.1	4.8	2.4	9.2	2.6	5.6	1.4	1.4	4.2	5.1	4.6	9.7	40.1	100



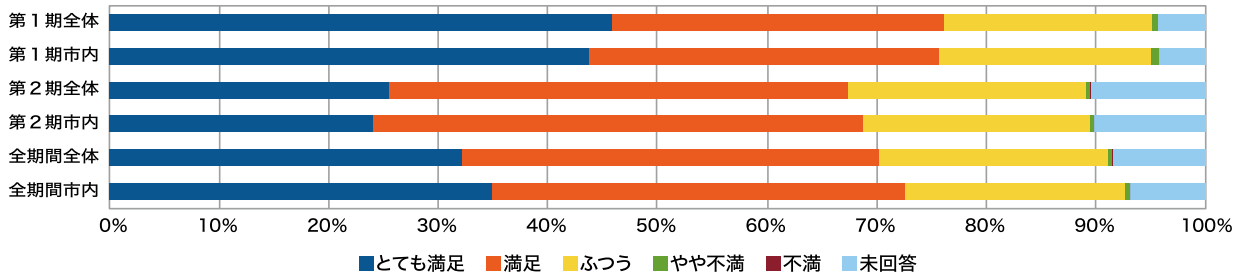
7. 展覧会の満足度

		%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
第1期	全体	52.6	34.4	8.9	0.3	0.0	3.9	100	
	市内	53.0	33.6	9.2	0.0	0.3	3.9	100	
第2期	全体	16.1	42.2	28.2	1.9	0.3	11.4	100	
	市内	20.3	43.5	22.0	2.8	0.0	11.4	100	
全期間	全体	28.0	39.6	21.9	1.4	0.2	9.0	100	
	市内	38.4	38.0	14.9	1.3	0.2	7.3	100	



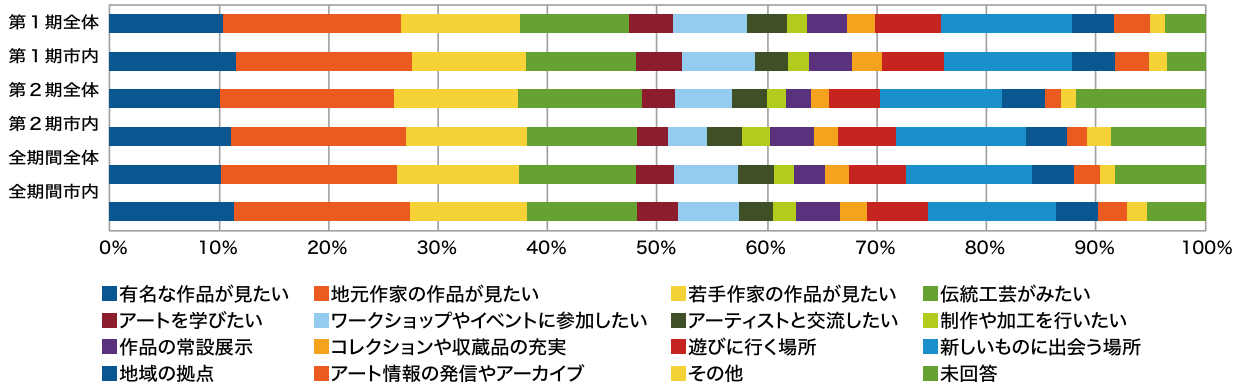
8. スタッフの満足度

		%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
第1期	全体	45.8	30.2	19.0	0.5	0.0	4.4	100	
	市内	43.8	31.9	19.4	0.7	0.0	4.3	100	
第2期	全体	25.5	41.8	21.8	0.3	0.1	10.5	100	
	市内	24.0	44.7	20.7	0.4	0.0	10.2	100	
全期間	全体	32.1	38.0	20.9	0.3	0.1	8.5	100	
	市内	34.9	37.6	20.0	0.5	0.0	6.9	100	



9. これからの美術館に望むこと(複数回答)

		%	有名な作品が見たい	地元作家の作品が見たい	若手作家の作品が見たい	伝統工芸がみたい	アートを学びたい	ワークショップやイベントに参加したい	アーティストと交流したい	制作や加工を行いたい	作品の常設展示	コレクションや収蔵品の充実	遊びに行く場所	新しいものに出会う場所	地域の拠点	アート情報の発信やアーカイブ	その他	未回答	合計
第1期	全体	10.3	16.3	10.8	9.9	4.1	6.7	3.6	1.9	3.6	2.5	6.1	11.9	3.8	3.3	1.4	3.7	100	
	市内	11.6	16.0	10.5	10.0	4.2	6.7	3.0	1.9	4.0	2.7	5.6	11.7	4.0	3.1	1.6	3.6	100	
第2期	全体	10.1	15.8	11.3	11.3	3.0	5.2	3.2	1.7	2.3	1.7	4.6	11.1	3.9	1.5	1.3	11.9	100	
	市内	11.1	16.0	11.1	10.1	2.8	3.6	3.2	2.6	4.0	2.2	5.3	11.9	3.8	1.8	2.2	8.7	100	
全期間	全体	10.2	16.0	11.1	10.7	3.5	5.8	3.3	1.8	2.9	2.1	5.2	11.5	3.9	2.3	1.4	8.3	100	
	市内	11.4	16.0	10.7	10.0	3.7	5.6	3.1	2.1	4.0	2.5	5.5	11.7	3.9	2.6	1.8	5.4	100	



自由記載

第1期

- 稽古堂の展示方法、作品は今までに経験したことのない展覧会で感動しました。[会場構成]
- 会場の設営方法や展示がアートな感じで、企画のテーマ“とまりぎ”にもあっていて素敵です。木の香りもよかったです。[会場構成]
- 作品を写真に撮ってOKというのはとてもよいと思います。家族や友人、職場の人たちにも伝えたいと思います。[展示内容]
- 作品の多くに感動や共感をもらいましたが、ここに居たくなるような設営にも強く感動しました。可能性を感じます。[展示内容]
- 中学生との合作すく“力”“若さ”を感じます。中学生の良い思い出になると思う。[展示内容]
- 全ての作品が個性や感性の多様性を表現していて素晴らしい。[展示内容]
- 取っていい手紙のトコが面白いと思いました。[ワークショップ]
- 展示が5日間だけなのがとても残念です。アートを年間通じて会津全体で盛り上げてほしい。[期間]
- チラシやポスター、ハガキの絵が素敵で、家族を誘ってリピートしました。[広報]
- 美術館妄想、ワクワクします。こんな風に何年もかけて市民でアイデアを出し、市民による市民のための素敵な場所ができることを祈っています。[美術館関連]
- 美術館に行くのではなく、市の施設など普段からよく使われるところでアートに触れることができるのは、よりアートを身近に感じさせるのでよかったです。[美術館関連]
- 会津若松にもアートを感じる場所がたくさんあればいいなと感じます。作家さんと触れ合える、話し合える機会がもっと欲しいです。[美術館関連]
- 美術館に対しての考え思いは市民、作家、行政で異なります。今多くの人が何を美術館やアートに求めているのか考えさせられました。[美術館関連]
- 毎日家の中で過ごしているのでとても刺激を受け、出会いのアートばかりでした。[その他]
- 作品を目の前で見る機会があまりないので小学生の子どものには新鮮だったようでいつまでも眺めていました。[その他]
- 久しぶりに画面ではなく本物の作品に触れ、情報量の豊かさに幸せを感じました。[その他]
- 自由に過ごせる場所がないと最近感じていたので、「美術館」と今日納得しました。心を温かくしてもらいました。[その他]
- 市街地活性化のため、若手作家の発表の場を作り、見ることができるとよいと思います。[その他]
- 今までの展示と変わっていて驚きました。湊中とのコラボがよかったです。他校のものも見てみたいです。地元の人と外からの人がバランスよくコラボレーションする場になることを望みます。[その他]
- 昨年、七日町での展覧会がとても心に残り、今年も楽しみにしていました。娘がお世話になった作家さんの作品を近くで見ることができ、ご本人ともお話できいい時間となりました。また来年も楽しみにしています。[昨年の感想]
- 作品を見る（受容）だけでなく、来場者同士の交流の場もあるので意義深く感じました。[コンセプト]
- 美術館のように「集積」している専用の場所、公共の場や街中の店内などに「分散」している場所、どちらにもアートがあって日常に触れることができるよい機会だと思います。[コンセプト]

第2期

- 広場が活かされていて外にも制作している作家さんがいたり、話もでき自由に見て歩けるのがいいですね。ただかきこまって見て帰るだけではなく自然と一体になりつつ広場という開放された光の中で見られたのがよかったです。[会場構成]
- 地元出身にこんなに素晴らしい作家の方々が多数いらしたことに感激しました。[展示内容]
- 絵画だけでなく写真などいろんな作品があり興味深かったです。若い方の作品を多く見れて良かったです。[展示内容]
- 市の収蔵作品からインスピレーションを受けて作家が制作する取り組みも、収蔵作品を知ることができるだけでなく、どの部分からインスピレーションを受けたのかを人と話しながら見ることができて面白かったです。[展示内容]
- 展示数がもう少し多ければよかったです。[展示内容]
- ワークショップでは子どもが手紙やノートを楽しく書いていました。[ワークショップ]
- スタッフの方の説明が丁寧で作品をより深く知ることができました。[スタッフ]
- 地域活性化のためにも知る機会をどんどん発信してほしいです。[広報]
- 遊びに行く場所、生活の一部である場所、散策の途中で出かける場所になりました。[その他]
- 毎日多忙な日々を過ごしている中、この空間は癒され、素敵な空間です。定期的にあるといいですね。[その他]
- このようなイベントがたくさんの人たちをつなげて活力ある街にしていけたらいいと思います。[その他]
- 人と人がまず対話できるような試みやこのような「まちづくり」そのものを創造するようなイベントがあってもいいと思います。[その他]
- 自分の住む地域を知ることやまちに愛着を持つ機会の不足を日々感じています。今回のアートを見て同じ地域でも場所によって色が違うように、それぞれが生まれ育った土地はそれぞれのアイデンティティを作成していくんだと思いました。制作に関わった人だけでなく、作品を鑑賞した人も同じ思いを共有できることがアートの強みだと改めて感じました。[その他]
- ミニワークショップまちなかを彩るうに参加して楽しかった。[店舗]

子どもたちとアーティストによる特別企画 「湊に伝わるものがたり」

あいづまちなかアートプロジェクトでは、毎年、子どもたちとアーティストが共同で作品を制作する特別企画を開催しています。5回目となる今年は、会津若松市立湊中学校の全校生徒25名が参加し、アーティストの佐藤香さん、コーディネーターの上越教育大学准教授・伊藤将和さんとともに、炭を使ったアート作品制作に挑戦しました。

湊地区では、地域の重要な産業として、江戸時代から木炭づくりが行われていましたが、最後の炭焼き職人が令和2年に操業を停止し廃業しました。湊地域ではこの文化を伝えていくため、炭窯跡を修復し再稼働させる取組を行っています。今回のワークショップでは、子どもたちが修復した炭窯で炭焼きを体験し、炭を使いアート作品を制作します。NPO法人みんなと湊まちづくりネットワークや元炭焼き職人、湊かたりべの会など、多くの地域の皆さまのご協力をいただきながら、4回のワークショップを開催しました。



■【第1回】 令和4年9月8日(木) ガイダンス (場所：湊中学校体育館)

初回のガイダンスでは、コーディネーターの伊藤将和さんから、地域のことを知りながらみんなでアート作品を制作する意味について投げかけがありました。次に、NPO法人みんなと湊まちづくりネットワークの大竹洋一さんより、湊地域に伝わる「炭づくり」について紹介がありました。そして、アーティストの佐藤香さんからは、その地域でとれる土や素材をつかって制作してきたこれまでの作品についてお話をお聞きしました。



■【第2回】 令和4年9月12日(月)
炭焼き体験 (場所：湊地区内の炭小屋)

第2回のワークショップは、NPO法人みんなと湊まちづくりネットワークのみなさんが修復した湊地区内にある炭小屋で炭づくりの体験です。まずは、窯の中から出来上がった炭を搬出するお手伝い。桧や松や雑木など、様々な木材が炭になって出てきました。窯の中が空になると、今度は炭にする木材を窯に入れる作業です。みんなで協力して重い木材を運び入れました。生徒のみなさんが各自持ってきた「炭にしたいもの」や、当日散策してみつけたものも、一斗缶の中に入れて窯の中に入れました。最後に窯に点火すると、煙突から白い煙がモクモク出てきました。生徒のみなさんが入れた木材などは9月18日に窯出しされました。



■【第3回】 令和4年9月14日(水)
湊の民話を聞き、土を使って絵を描く (場所：湊中学校理科室)

第1回のワークショップで、「湊に伝わる物語や昔の暮らしについて調べる」「作品に使いたい湊の土を持ってくる」という宿題を出していました。今回は、湊かたりべの会の田中フミ子さんから、湊に伝わる物語《恋が崎伝説》を伺いました。湊を表すエピソードやキーワードがたくさんつまった伝承です。その後、各自持ってきた土にボンドと水を加え、スプーンでぐるぐる混ぜて土の絵の具をつくります。その絵の具を使って、田中さんから伺った民話や、自分たちが調べてきた湊に伝わる物語を絵で表現しました。松やイチョウの木を描くひと、大蛇の様子を描くひと、滝を勢いよく描くひとなど、ひとりひとり自由に表現しました。



「恋が崎伝説」はこちら (みんなと湊まちづくりネットワーク)



■【第4回】 令和4年9月16日(金)

炭や土を使って絵を描く (場所：湊中学校体育館)

湊中学校全校生徒25名のみなさんと、アーティストの佐藤香さん、コーディネーターの伊藤将和さん、湊かたりべの会の田中フミ子さんが一緒に、2×5mの大きな和紙を囲み物語を描きました。作品の中心部分には、湊の炭をそのまま使い描画し、《恋が崎伝説》からイメージした大蛇のうねりや水のしぶき、自然のうごめき、こころの動きなどを感覚的に表現しています。そして紙の周辺部分には土の絵の具を使い、自分たちが調べてきた湊の物語を描きました。紙の白い部分が見えなくなるよう密度を高めていきます。約2時間描き完成しました。タイトルは《湊に伝わるものがたり》。湊を知り、学び、そして湊の素材で生まれた作品です。



ワークショップ「湊に伝わるものがたり」

このワークショップでは炭焼き体験と共に「湊に伝わる民話をみんなで聞く」と、「湊の昔話や昔の暮らしを自分で調べてみる」という2つの視点で地域を知る時間を設け、この体験をもとに、最後に大きな絵をみんなで描きました。民話とは、その時代の暮らしや土地の歴史を知るきっかけをくれるものだと考えます。今回のワークショップでは、湊で民話を受け継



いできた人からお話を聞き、イメージする“大きな視点”から、深く土地や昔の人を意識する事を目的の一つとしました。また、自分で調べた湊にまつわる昔話や、昔の暮らしからイメージする“小さな視点”と共に、土の絵の具から土地性を意識する事も狙いでした。

自分が生まれた地域や歴史を知る事は、その人の「アイデンティティ」が確立する上で大切な要素だと考えています。それが確立されていれば、遠い将来「何の為に自分が生きているのか」を迷ったときの糧になるのではないかな、と考えています。そのきっかけの一つとして、アートがあります。

生徒には自ら取ってきてもらった地元の土や、貴重な体験を経て自分達で取り出した炭を素材に、絵を描く体験をしてもらいました。普段の授業での学習とはまた違った五感を使って「知る体験」は、アートの醍醐味だと思います。この活動を通して、自分が住む土地への視点が少し変わるきっかけになり、自分が生まれた地域と自分自身を意識することができることを望んでいます。

佐藤香 (現代美術家)

「湊に伝わるものがたり」共同制作にあたって

湊に暮らす生徒たちが、この土地に続いてきた文化を、一つの物語として表現しました。中央の黒色は、焼成された雑木炭を用いることで創造の源泉である流水をイメージさせ、それを囲む土色の紋様は、湊の土地に伝わる伝承をもとに呼び起こされた、さまざまな形で構成されています。

本企画の特色は、アート活動を通して会津地域の文化を知り、日常生活の中から作品に仕立てる糸口を見つけていくことにあります。湊中の皆さんが、アーティストと共に作品を作り上げる過程の中で、普段生活している中では気づくことの少ない歴史や文化を体験し、再認識していくことを目的としています。湊では古くから「炭焼き」によって生計を立てていたご家庭が多くあったと聞きました。現在私たちの生活で炭を燃料として使用することは少なく、その生成についても知り得る機会は少なくなっています。伝承や物語もまた同様に、口伝によって後世まで語り継がれることで、わたしたちにその姿を認識させるのです。この二つの文化的な営みは、懐かしさを感じさせ、積み重ねた時間を想像させてくれます。まさに人の営みと、生活から生み出される色が存在します。アーティスト佐藤香は湊から生まれる物を題材とし、画材として使用することにこだわりました。生徒自身が採取した土を絵の具として、湊に伝わる「伝承や物語」をイメージの源泉として一つの新たな物語にまとめていきました。

共同制作の特色は、一人では得難いほどの大きな作品に取り組めることや、他者からの刺激を受けながら、自己の創造性を広げてゆくことが利点として挙げられます。この絵画はまさに湊に生きる中学生の皆さんが紡ぎだした物語そのものなのです。

伊藤将和（上越教育大学准教授）



制作作品展示について

あいづまちなかアートプロジェクト2022「とまりぎ美術館で待ちあわせ」で展示

【第一期】

日時 10月8日(土)～10月12日(水) 10時～18時
※会期中無休、最終日のみ15時閉場

場所 會津稽古堂多目的ホール（会津若松市栄町3-50）

【第二期】

日時 10月15日(土)～11月6日(日) 10時～16時
※会期中無休

※10月21日～23日は湊中学校文化祭で展示

場所 野口英世青春広場（会津若松市中町1-23）



協力 会津若松市立湊中学校、NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク、湊かたりべの会、現代美術家 佐藤香、上越教育大学 伊藤将和 准教授

展示会場一覧(会津・漆の芸術祭)

No.	会場名	展示内容・期間	協力団体・協力作家
1	松本家蔵	うるし その可能性と未来 【期間】10月1日(土)～11月3日(木・祝)	富山大学、筑波大学、京都市立芸術大学、 広島市立大学
2	ギャラリーアブドゥ	うるし その可能性と未来 現代漆芸作家展「紅蓮」「翁」 【期間】10月1日(土)～10月30日(日)	東京藝術大学、宇都宮大学、 金沢美術工芸大学、沖縄県立芸術大学、 いらはらみつみ
3	会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	うるし その可能性と未来 起き上がり小法師プロジェクト 会津塗桐下駄プロジェクトの展示 【期間】10月1日(土)～11月3日(木・祝)	東北芸術工科大学、秋田公立美術大学、 会津大学短期大学部、会津塗技術保存会、他
4	会津若松市文化センター 美術実習室2・練習室	第58回会津工芸新生会展 板倉巴紋蒔絵鞍籠の展示 【期間】10月7日(金)～10月12日(水)	会津工芸新生会、板倉好幸、須藤靖典、大森康弘、 神郁江、佐藤淳
5	JR会津若松駅	SL 会津只見号ヘッドマークの展示 【期間】10月1日(土)～11月3日(木・祝)	井波純、吾子可苗

展示会場一覧(まちなかピナコテカ：とまりぎ美術館で待ちあわせ)

No.	会場名	展示内容・期間	協力団体・協力作家
1	會津稽古堂 多目的ホール・ 市民ギャラリー	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第1期) きっかけのとまりぎ 【期間】10月8日(土)～10月12日(水)	ディレクター：伊藤達矢 (東京藝術大学 社会連携センター) キュレーター：大政愛(はじまりの美術館) 広報物デザイン：ノガワアイ 会場構成デザイン：アサノコウタ MAPデザイン：藤城光 協力：会津若松市立行仁小学校、会津若松市立湊 中学校、猪苗代町立緑小学校、NPO法人みんな と湊まちづくりネットワーク、社会福祉法人 会津療育会 障がい者支援施設アガッセ、社会福 祉法人安積愛育園 はじまりの美術館、湊かたり への会、会津美術協会 出展作家：浅野友理子、川合南菜子、佐藤香、 鈴木一郎、高橋克幸、馬場泰、halo、 Kengo hirano、銚井喬、長嶺キミ +会津若松市収蔵作品(春日部たすく、斎藤清、 佐藤辰治、鈴木亮平、渡部百合子)
2	野口英世青春広場	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) 広場のとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	浅野友理子、川合南菜子、佐藤香、鈴木一郎、 高橋克幸、馬場泰、halo、Kengo hirano、 銚井喬、長嶺キミ
3	福西惣兵衛商店	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) まちなかのとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	浅野友理子
4	marusa	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) まちなかのとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	鈴木一郎
5	松坂屋商会	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) まちなかのとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	高橋克幸
6	写真とカメラサイトウ・ 齋藤写真館	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) まちなかのとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	馬場泰
7	栄町オサダ	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) まちなかのとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	halo
8	タカハシブラザー	とまりぎ美術館で待ちあわせ (第2期) まちなかのとまりぎ 【期間】10月15日(土)～11月6日(日)	Kengo hirano

あいちまちなかアートプロジェクト2022 出品作品一覧

No.	氏名	作品名	所属	展示名	展示会場	ページ
1	高野 美咲	乾漆花器 生命のちから	富山大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	6
2	松宮 菜美子	夜が ажけるまで	富山大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	6
3	村松 耶々子	alive	富山大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	7
4	高橋 誠一	漆の大皿	富山大学(教授)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	7
5	小川 太郎	平文小筆筒	富山大学(講師)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	7
6	しんたに ひとみ	乾漆蠅細合子「三羽の天道虫」	富山大学(助教)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	7
7	織田 峻太郎	偽りの威	富山大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	8
8	西澤 かれん	文箱	富山大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	8
9	柴田 紗英	パンはパンでも 3	富山大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	8
10	原 詩音	縷々	筑波大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	8
11	宮原 克人	蠅細 2022	筑波大学(准教授)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	8
12	原 心里	よじ登りペンギン	筑波大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	9
13	高橋 呼春	習作	筑波大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	9
14	川島 史也	鯛 B	筑波大学(助教)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	9
15	沢辺 裕子	野辺に捧ぐ	筑波大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	9
16	曾澤 優花	手のマスク	筑波大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	10
17	太田 明理紗	ロボットのおもちゃ	筑波大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	10
18	大矢 一成	風を盛る	京都市立芸術大学(准教授)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	10
19	吉村 優理	模倣者	京都市立芸術大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	10
20	兒玉 梨香子	「ひろいものずかん」	京都市立芸術大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	11
21	京都市立芸術大学・こどもうるし生活プロジェクト同	百味漆パズル	京都市立芸術大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	11
22	呉 雯雯	筆陣図	京都市立芸術大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	11
23	小峰 花香	漆鏡「壁虎」	京都市立芸術大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	11
24	酒井 日向	織	京都市立芸術大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	11
25	張 敏	「シルエット」	広島市立大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	12
26	ZHAO YUE	風	広島市立大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	12
27	封 帆	融合 I	広島市立大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	12
28	富樫 慧	溜塗漆鞘短刀拵	広島市立大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	12
29	青木 伸介	花紋乾漆器	広島市立大学(准教授)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	13
30	藤田 薫	ナンテン	広島市立大学(非常勤助教)	うるし その可能性と未来	松本家蔵	13
31	任 金来	元	広島市立大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	13
32	LIU YUFAN	花と夢	広島市立大学	うるし その可能性と未来	松本家蔵	13
33	小原 範彦	蒔絵パネル「Koblenz への道」	東京藝術大学(教授)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	14
34	青木 宏暉	守箱 ふんころがし	東京藝術大学(准教授)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	14
35	田中留 亜美	乾漆蒔絵箱「うらひとま」	東京藝術大学(テクニカルインストラクター)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	15
36	佐々木 岳人	Scotoma	東京藝術大学(テクニカルインストラクター)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	15
37	新井 寛生	乾漆蒔絵飾り箱 白雨	東京藝術大学(教育研究助手)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	15
38	伊藤 ミナ子	Suite Metamorphose -Scherzino-	東京藝術大学(教育研究助手)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	15
39	松島 さくら子	flames-I	宇都宮大学(教授)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	16
40	星 温美	地球のかけら	宇都宮大学(OG)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	16
41	阿久津 まみ	鍵しっぽの子たち	宇都宮大学(OG)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	16
42	六角 春香	貪瞋痴	宇都宮大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	17
43	梶 男	かたち I	金沢美術工芸大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	18
44	蔭 先財	犀皮人形器	金沢美術工芸大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	18
45	白濱 真理子	多くを失えども	金沢美術工芸大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	18
46	島袋 香子	ハルノヨ	沖縄県立芸術大学(教育補助専門員)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	19
47	吉田 舜乃	花びら	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	19
48	野口 萌花	ティードアミ	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	19
49	内村 介柊	塵囂	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	19
50	前田 美海	ベタ	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	20
51	高嶺 瑞貴	星影	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	20
52	宮平 京弥	乾漆盛器「満」	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	20

No.	氏名	作品名	所属	展示名	展示会場	ページ
53	又吉 敏士	乾漆皿	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	20
54	松崎 森平	色貝蒔絵飾皿「南」	沖縄県立芸術大学 (専任講師)	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	21
55	内田要季、瓜生田大紀、鎌田ひかる、児玉夏実、藤田雅也	琉球漆芸（堆錦・沈金・箔絵・密陀絵）	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	21
56	知花 みのり	たからばこ	沖縄県立芸術大学	うるし その可能性と未来	ギャラリー・アブドゥ	21
57	松本 由衣	乾漆水指「STAR」	東北芸術工科大学（講師）	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	22
58	白幡 京香	細水	東北芸術工科大学	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	22
59	白幡 京香	粉雪	東北芸術工科大学	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	22
60	高橋 あみ	かたち	東北芸術工科大学	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	23
61	斎藤 陸姫	相馬相愛	東北芸術工科大学	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	23
62	石田 千秋	紋曲椀	東北芸術工科大学	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	23
63	石田 千秋	紋曲皿	東北芸術工科大学	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	23
64	熊谷 晃	変塗蒔絵螺鈿箱「タカネスミシ」	秋田公立美術大学（教授）	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	23
65	井波 純	漆組器「悠かなる祈り」	会津大学短期大学部（教授）	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	24
66	戸田 日向子	飾	会津大学短期大学部	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	24
67	増山 明恵	宇宙の卵Ⅲ	会津大学短期大学部 (非常勤講師)	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	24
68	吾子 可苗	蒔絵螺鈿宝箱「立葵」	会津大学短期大学部 (非常勤講師)	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	24
69	田中 朱津	長旅	会津大学短期大学部	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	25
70	藤岡 莉子	ideal	会津大学短期大学部	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	25
71	山田 倭華	荔枝の実	会津大学短期大学部	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	25
72	笠間 太呂	縄文	会津大学短期大学部（OB）	うるし その可能性と未来	会津若松市歴史資料センターまなべこ	25
73	会津大学短期大学部の皆さん	起き上がり小法師	会津大学短期大学部	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	26
74	宇都宮大学の皆さん	起き上がり小法師	宇都宮大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	26
75	沖縄県立芸術大学の皆さん	起き上がり小法師	沖縄県立芸術大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	27
76	筑波大学の皆さん	起き上がり小法師	筑波大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	27
77	京都市立芸術大学の皆さん	起き上がり小法師	京都市立芸術大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	27
78	富山大学の皆さん	起き上がり小法師	富山大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	27
79	東北芸術工科大学の皆さん	起き上がり小法師	東北芸術工科大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	27
80	広島市立大学の皆さん	起き上がり小法師	広島市立大学	起き上がり小法師プロジェクト	会津若松市歴史資料センターまなべこ	27
81	井波 純	きざし	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	28
82	大澤 周一	本朱曲輪弁当	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	28
83	大澤 周一	彩碗（山女魚図）2客	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	28
84	大澤 周一	丸器（草花蒔絵）	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	28
85	大澤 周一	喚籠（清流）	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	28
86	大竹 信一	三つ足の器	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
87	大竹 信一	宝相華文フリースカップ	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
88	大竹 信一	ペアぐい呑み	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
89	大竹 信一	会津絵ぐい呑み	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
90	大森 茂光	黒漆長角パーティーセット	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
91	大森 茂光	青彩ボール 1個	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
92	大森 茂光	青彩 椀 5個	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
93	大森 茂光	古代朱六角皿 2枚	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
94	大森 茂光	拭き漆皿 1枚	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	29
95	大和田 康文	甕	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
96	大和田 康文	京の夜	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
97	賀川 義宜	溜二段弁当	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
98	賀川 義宜	小判菓子皿	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
99	後庵野 かおり	有線七宝蓋物「うすみどり」	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
100	後庵野 かおり	有線七宝蓋物「枝先に春」	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
101	国分 幸一	名刺入れ 木漏れ日	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
102	国分 幸一	名刺入れ 鉄蒔絵内消し蒔絵	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
103	国分 幸一	名刺入れ 花模様	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
104	国分 幸一	名刺入れ 里	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
105	国分 幸一	名刺入れ 本朱	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30
106	国分 幸一	名刺入れ タメ	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	30

No.	氏名	作品名	所属	展示名	展示会場	ページ
107	小林 弘和	七寸皿金箔研ぎ出し蒔絵 3枚	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
108	小松 茂夫	台付入隅三段重 会津絵	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
109	小松 茂夫	鉄錆塗鉢 龍	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
110	佐藤 達夫	蒔絵水差「旅」	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
111	佐藤 達夫	螺鈿片口 酒器揃	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
112	佐藤 達夫	和紙貼角皿 (5枚)	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
113	佐竹 敦夫	色絵橋文 角花入	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
114	佐竹 敦夫	白橋文角皿	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
115	佐竹 敦夫	白橋文 葉形皿	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
116	佐竹 敦夫	赤橋文 葉形皿	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	31
117	佐竹 伸也	白瓷白鳥瓶	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
118	佐竹 伸也	花器	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
119	佐竹 伸也	オブジェ 自空壺	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
120	佐竹 伸也	花器	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
121	佐竹 伸也	花器	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
122	照井 克弘	小箱「椿」	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
123	照井 克弘	小箱「猿蜂」	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
124	照井 克弘	小箱 錆絵「ブドウ」	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	32
125	宗像 利浩	珊瑚水差	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	33
126	渡辺 雅旺	碧映	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	33
127	渡辺 雅旺	花器 空と雲	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	33
128	渡辺 雅旺	壺 白容	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	33
129	渡辺 雅旺	赤い皿	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	33
130	渡辺 雅旺	白いつぼ	会津工芸新生会	第58回会津工芸新生会展	会津若松市文化センター	33
131	塗：大森 弘 蒔絵：佐藤 直樹	会津型梅文様小町下駄	会津塗技術保存会	会津塗桐下駄プロジェクトの展示	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34～35
132	蒔絵：照井 克弘	桜文様木地蒔絵駒下駄	会津塗技術保存会	会津塗桐下駄プロジェクトの展示	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34～35
133	蒔絵：小松 茂夫 神 郁江	梅文様鉄錆千両下駄	会津塗技術保存会	会津塗桐下駄プロジェクトの展示	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34～35
134	塗：大森 弘 蒔絵：大竹 信一	唐子漆絵千両下駄	会津塗技術保存会	会津塗桐下駄プロジェクトの展示	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34～35
135	蒔絵：小松 茂夫	秋草蒔絵千両下駄	会津塗技術保存会	会津塗桐下駄プロジェクトの展示	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34～35
136	塗：大森 弘	花塗駒下駄	会津塗技術保存会	会津塗桐下駄プロジェクトの展示	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34～35
137	木地：小林 重信 塗：大森 弘 蒔絵：小松 茂夫	四君子蒔絵二段重	会津塗技術保存会	令和3年度文化庁の研修事業成果物	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34
138	木地：小林 重信 塗：大森 弘 蒔絵：佐藤 直樹	花丸色粉蒔絵二段重	会津塗技術保存会	令和3年度文化庁の研修事業成果物	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34
139	金地：佐藤 淳 蒔絵：小松 茂夫	菊・蘭蒔絵内金地朱盃	会津塗技術保存会	令和3年度文化庁の研修事業成果物	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34
140	制作：佐藤 淳	菊花文内金地5号朱盃	会津塗技術保存会	令和3年度文化庁の研修事業成果物	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34
141	金地：佐藤 淳	朱盃消金地工程見本	会津塗技術保存会	令和3年度文化庁の研修事業成果物	会津若松市歴史資料センターまなべこ	34
142	須藤 靖典	蒔絵 漆箱「育む」	会津塗技術保存会 会長	会津塗技術保存会会長作品	会津若松市歴史資料センターまなべこ	35
143	いらはら みつみ	紅蓮	漆芸作家	現代漆芸作家展	ギャラリー・アブドゥ	36
144	いらはら みつみ	翁	漆芸作家	現代漆芸作家展	ギャラリー・アブドゥ	36
145	板倉好幸 監修：須藤靖典 塗：大森康弘・神郁江 蒔絵：佐藤淳	板倉巴紋蒔絵鞍轡	個人参加	板倉巴紋蒔絵鞍轡の展示	会津若松市文化センター	37
146	井波純 君子可也	SLヘッドマーク「金彩朱磨会津桐文」	個人参加	SL 会津只見号ヘッドマークの展示	JR 会津若松駅	37
147	浅野 友理子	耕地の緒	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
148	浅野 友理子	めざめ	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂／ 野口英世青春広場	42～55
149	浅野 友理子	サフラン摘み	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
150	浅野 友理子	憩う庭	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂／ 福西惣兵衛商店	42～55
151	渡部 百合子	憩う女	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
152	川合 南菜子	会津若松美術館建立妄想絵巻	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
153	川合 南菜子	絵画の呼吸	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
154	川合 南菜子	展覧会の痕跡	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	野口英世青春広場	42～55
155	佐藤 香	門一岩屋一	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
156	佐藤 香	門一獣一	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
157	佐藤 香	門一水辺一	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
158	佐藤 香	門一赤湯一	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55
159	佐藤 香	門一白湯一	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稲古堂	42～55

No.	氏名	作品名	所属	展示名	展示会場	ページ
160	佐藤 香	山で生きている	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
161	春日部 たすく	山沼花	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
162	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
163	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
164	鈴木 一郎	森と生きるもの	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
165	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／marusa	42～55
166	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／marusa	42～55
167	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／marusa	42～55
168	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
169	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
170	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
171	鈴木 一郎	無題	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
172	鈴木 亮平	野良の秋	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
173	高橋 克幸	Fruitful	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
174	高橋 克幸	vocabulary	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
175	高橋 克幸	ぎゅうぎゅう	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／松坂屋商会	42～55
176	高橋 克幸	近所	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／松坂屋商会	42～55
177	高橋 克幸	our village	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	野口英世青春広場	42～55
178	高橋 克幸	We are forest	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
179	渡部 百合子	集落	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
180	馬場 泰	HUG2020-2021	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
181	馬場 泰	ばくの標本箱 2014「折魚(きぎょ)」	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
182	馬場 泰	ANIMA「ヨウコソ!」	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／写真とカメラサイトウ・齋藤写真館	42～55
183	馬場 泰	HOUSE2017	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
184	馬場 泰	イロイロナキモチ 2022-I	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
185	馬場 泰	ワスレナイデ 2019-I	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
186	馬場 泰	ばくの標本箱 2015「トキドリ」	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
187	馬場 泰	ボク	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／写真とカメラサイトウ・齋藤写真館	42～55
188	渡部 百合子	生・赤	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
189	halo	ghosts and flowers	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
190	halo	パーティー 夜更	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／栄町オサダ	42～55
191	齋藤 清	朝市バリ	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
192	Kengo hirano	蜜柑	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
193	Kengo hirano	浮遊	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
194	Kengo hirano	U.F.O	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
195	Kengo hirano	untitled	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
196	Kengo hirano	portrait —Karl Marx—	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
197	Kengo hirano	polaroid —killer 植木屋商店—	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
198	Kengo hirano	polaroid —killer...—	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
199	Kengo hirano	polaroid —killer...—	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
200	Kengo hirano	落ち葉	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／タカハシプラザ	42～55
201	齋藤 清	秋樹様	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
202	銚井 喬	Windgraph ～風の見たきた景色2011+11～	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
203	長嶺 キミ	風花	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂／野口英世青春広場	42～55
204	長嶺 キミ	雨と水と 2010-2	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
205	長嶺 キミ	風ひかる	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
206	長嶺 キミ	風花II	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
207	長嶺 キミ	野火I	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
208	長嶺 キミ	窓	個人参加	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
209	佐藤 辰治	丘の上の貝	会津若松市収蔵美術作品	とまりぎ美術館で待ちあわせ	會津稽古堂	42～55
210	湊中学校生徒+佐藤 香	湊に伝わるものがたり		とまりぎ美術館で待ちあわせ 子どもたちとアーティストによる特別企画「湊に伝わるものがたり」	會津稽古堂／野口英世青春広場	56～59

開催ワークショップ・主催イベント

日時・場所	内容
7月4日(月) 第二中学校 8月26日(金) 行仁小学校 8月30日(火) 城南小学校 9月1日(木) 日新小学校	<p>漆の出前講座</p> <p>会津大学短期大学部(地域活性化センター)の井波教授の協力のもと、市内小中学校で伝統産業である会津漆器と原料となるウルシについての出前講座を開催しました。ウルシとは何か、ウルシや会津漆器の歴史をクイズを交えながらお話いただき、漆器の産地である会津若松市についての理解を深めてもらいました。</p> <p>協力：会津大学短期大学部 教授 井波 純 氏</p>
9月8日(木) 9月12日(月) 9月14日(水) 9月16日(金) 湊中学校体育館、 湊地区内の炭小屋、 湊中学校理科室	<p>子どもたちとアーティストによる特別企画「湊に伝わるものがたり」</p> <p>あいづまちなかアートプロジェクトでは、毎年、子どもたちとアーティストが共同で作品を制作する特別企画を開催しています。5回目となる今年は、会津若松市立湊中学校の全校生徒25名が参加し、アーティストの佐藤香さん、コーディネーターの上越教育大学准教授・伊藤将和さんとともに、炭を使ったアート作品制作に挑戦しました。</p> <p>湊地区では、地域の重要な産業として、江戸時代から木炭づくりが行われていましたが、最後の炭焼き職人が令和2年に操業を停止し廃業しました。湊地域ではこの文化を伝えていくため、炭窯跡を修復し再稼働させる取組を行っています。今回のワークショップでは、子どもたちが修復した炭窯で炭焼きを体験し、自分で作った炭を使いアート作品を制作します。NPO法人みんなと湊まちづくりネットワークや元炭焼き職人、湊かたりべの会など、多くの地域の皆さまのご協力をいただきながら、4回のワークショップを開催しました。</p> <p>協力：上越教育大学 准教授 伊藤 将和 氏 現代美術家 佐藤 香 氏 会津若松市立湊中学校</p>
10月4日(火) 10月5日(水) 10月6日(木) 10月7日(金) 10月12日(水) 10月14日(金) 10月18日(火) 10月19日(水) 10月26日(水) 10月27日(木) 11月4日(金) 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室	<p>まなべこツアー 会津塗技術保存会による作品紹介</p> <p>あいづっこ人材育成プロジェクト事業の「まなべこツアー」として、市内小学校6年生が会津若松市歴史資料センターまなべこを訪れ、会津塗技術保存会の会津塗桐下駄プロジェクトの作品をはじめ展示作品を見学しました。各回、講師として会津塗技術保存会の皆さんに会津漆器の歴史や漆、作品の解説をいただきました。</p> <p>協力：会津塗技術保存会</p>
10月8日(土) 10月12日(水) 會津稽古堂 市民ギャラリー・ 多目的ホール	<p>とまりぎ美術館で待ちあわせ ギャラリートーク</p> <p>展示会のキュレーターを務めていただいた猪苗代町の「はじまりの美術館」の学芸員・大政愛氏をはじめ、出展作家のみなさんと一緒に作品を巡りながらギャラリートークを行いました。</p> <p>第1回(10月8日) 協力：浅野 友理子 氏、高橋 克幸 氏、Kengo hirano 氏(本展出展作家)、 ノガワ アイ 氏(本展広報デザイン)、 伊藤 将和 氏(湊中学校ワークショップコーディネーター)、 大政 愛 氏(本展キュレーター)</p> <p>第2回(10月12日) 協力：川合 南菜子 氏、佐藤 香 氏、高橋 克幸 氏、馬場 泰 氏、長嶺 キミ 氏(本展出展作家)、 アサノ コウタ 氏(本展会場構成デザイン)、 大政 愛 氏(本展キュレーター)</p>

日時・場所	内容
10月8日(土)～10月12日(水) 會津稽古堂 市民ギャラリー・多目的ホール 10月15日(土)～11月6日(日) 野口英世青春広場	とまりぎ美術館で待ちあわせ 3つのワークショップ ①「ノートに書いてみよう・読んでみよう」 “最近気になること”、“会津がこうなったらいいな”など、様々な言葉が表紙に描かれている12冊のノートのうち、気になったノートに絵や言葉を書いてもらいました。 ②「作者のひとへ、手紙を書こう」 展覧会や作品を見ての感想やメッセージ、質問や気づきなど、作者にむけて手紙を書いてもらいました。(手紙は会期終了後に作者の方へお届けしました。) ③「次に、とまりぎ美術館に来るだれかのために、手紙を書こう」 質問してみたいこと、話してみたいこと、自分の気になった作品など、次の「だれか」のために手紙を書いてもらいました。
10月8日(土)～10月12日(水) 會津稽古堂 市民ギャラリー 10月15日(土)～11月6日(日) 野口英世青春広場	とまりぎ美術館で待ちあわせ 滞在制作 第1期「きっかけのとまりぎ」では、高橋克幸さんに滞在していただき、會津稽古堂の窓ガラスに専用のクレヨンで作品を制作いただきました。 協力：高橋 克幸氏 作品名：We are forest 第2期「広場のとまりぎ」では、佐藤香さん、高橋克幸さん、川合南菜子さんの滞在制作により屋外に新たな作品を制作いただきました。 協力：佐藤 香氏 作品名：山で生きている 高橋 克幸氏 作品名：our village 川合 南菜子氏 作品名：展覧会の痕跡
10月29日(土) 會津稽古堂 美術工芸スタジオ	オリジナルプリントの会津木綿で作る桐下駄 (東京造形大学WS) キラキラ光る箔プリントを加えた会津木綿を使い鼻緒を作り、自分だけの桐下駄を作るワークショップを開催しました。 協力：東京造形大学
11月3日(木・祝) 會津稽古堂 美術工芸スタジオ	会津漆器協同組合青年部「漆体験教室」 会津漆器協同組合青年部による本漆を使用したワークショップを開催しました。ぐいのみへ摺り漆または変り塗のお箸の研ぎ出しを体験しました。体験した品物は漆を乾かして後日、参加者にお渡ししました。 協力：会津漆器協同組合青年部

連携イベント

日時・場所	イベント名	場所	主催
8月20日(土)	「自分の住みたいエコハウスを作るう」 模型づくりワークショップ	会津若松市文化センター	福島県建築士会会津支部
10月6日(木)～ 10月12日(水)	新しいAIZUの美術展	会津若松市文化センター 展示室兼会議室	公益財団法人会津若松文化 振興財団
10月7日(金)～ 10月13日(木)	障がい者アート展	会津若松市文化センター 特設展示場	会津若松市 地域自立支援協議会 活動支援部会
10月19日(水)～ 10月23日(日)	第59回会津美術協会展	会津若松市文化センター	会津美術協会

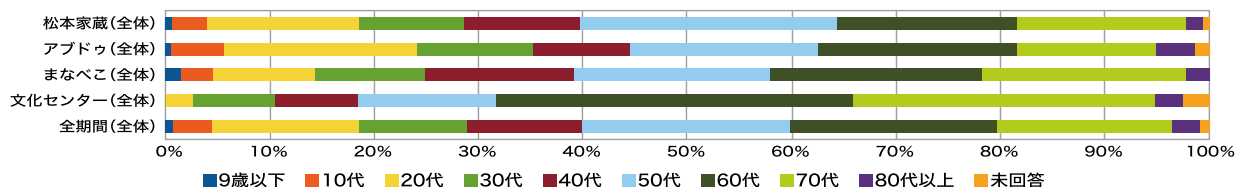
会津・漆の芸術祭2022 アンケート集計

アンケート回答数

会場名	会 期	来場者	アンケート回答数	回収率
松本家蔵	令和4年10月1日(土)～令和4年11月3日(木・祝) 34日間	258	179	69.4%
ギャラリーアブドゥ	令和4年10月1日(土)～令和4年10月30日(日) 30日間	249	216	86.7%
まなべこ	令和4年10月1日(土)～令和4年11月3日(木・祝) 34日間	855	133	15.6%
文化センター	令和4年10月7日(金)～令和4年10月12日(水) 5日間	261	38	14.6%
合 計		1,623	566	34.9%

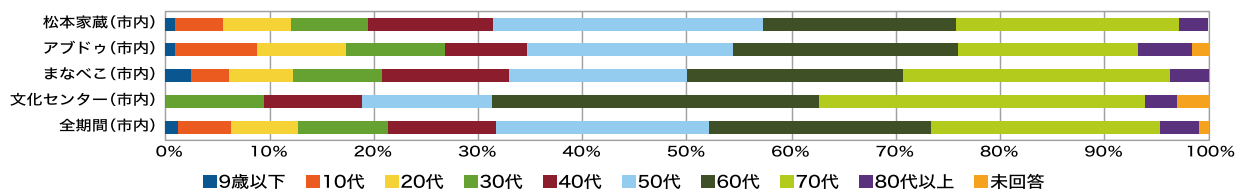
1-1. 年齢(全体)

%	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
松本家蔵(全体)	0.6	3.4	14.5	10.1	11.2	24.6	17.3	16.2	1.7	0.6	100
アブドゥ(全体)	0.5	5.1	18.5	11.1	9.3	18.1	19.0	13.4	3.7	1.4	100
まなべこ(全体)	1.5	3.0	9.8	10.5	14.3	18.8	20.3	19.5	2.3	0.0	100
文化センター(全体)	0.0	0.0	2.6	7.9	7.9	13.2	34.2	28.9	2.6	2.6	100
全期間(全体)	0.7	3.7	14.1	10.4	11.0	20.0	19.8	16.8	2.7	0.9	100



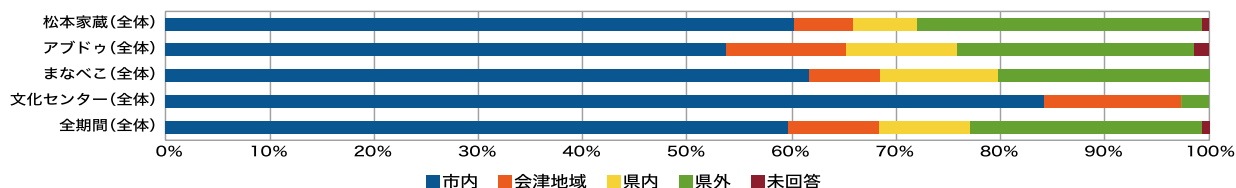
1-2. 年齢(市内)

%	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
松本家蔵(市内)	0.9	4.6	6.5	7.4	12.0	25.9	18.5	21.3	2.8	0.0	100
アブドゥ(市内)	0.9	7.8	8.6	9.5	7.8	19.8	21.6	17.2	5.2	1.7	100
まなべこ(市内)	2.4	3.7	6.1	8.5	12.2	17.1	20.7	25.6	3.7	0.0	100
文化センター(市内)	0.0	0.0	0.0	9.4	9.4	12.5	31.3	31.3	3.1	3.1	100
全期間(市内)	1.2	5.0	6.5	8.6	10.4	20.4	21.3	21.9	3.8	0.9	100



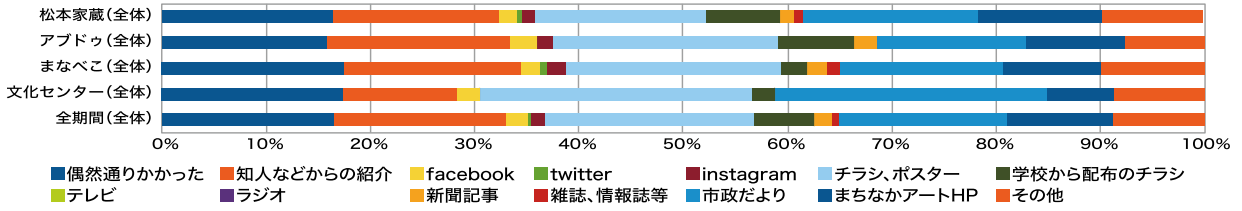
2. どこから来たか

%	市内	会津地域	県内	県外	未回答	合計
松本家蔵(全体)	60.3	5.6	6.1	27.4	0.6	100
アブドゥ(全体)	53.7	11.6	10.6	22.7	1.4	100
まなべこ(全体)	61.7	6.8	11.3	20.3	0.0	100
文化センター(全体)	84.2	13.2	0.0	2.6	0.0	100
全期間(全体)	59.7	8.7	8.7	22.3	0.7	100



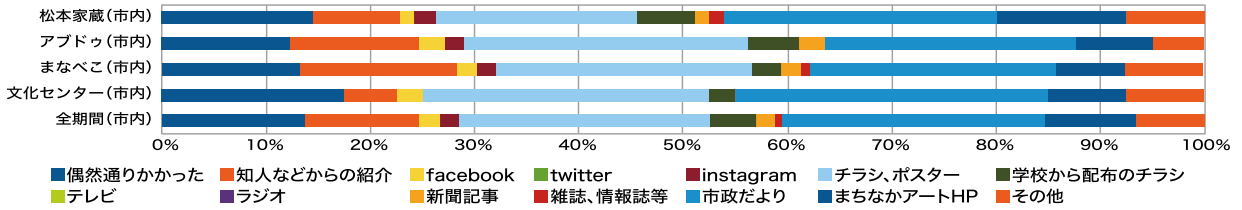
3-1. 展覧会を知ったきっかけ(複数回答)(全体)

	%	偶然通りかかった	知人などからの紹介	face book	twitter	insta gram	チラシ、ポスター	学校から配布のチラシ	テレビ	ラジオ	新聞記事	雑誌、情報誌等	市政だより	まちなかアートHP	その他	合計
松本家蔵(全体)	16.4	15.9	1.8	0.4	1.3	16.4	7.1	0.0	0.0	1.3	0.9	16.8	11.9	9.7	100	
アブドゥ(全体)	15.8	17.6	2.6	0.0	1.5	21.6	7.3	0.0	0.0	2.2	0.0	14.3	9.5	7.7	100	
まなべこ(全体)	17.5	16.9	1.9	0.6	1.9	20.6	2.5	0.0	0.0	1.9	1.3	15.6	9.4	10.0	100	
文化センター(全体)	17.4	10.9	2.2	0.0	0.0	26.1	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	26.1	6.5	8.7	100	
全期間(全体)	16.5	16.5	2.1	0.3	1.4	20.0	5.8	0.0	0.0	1.7	0.6	16.2	10.1	8.9	100	



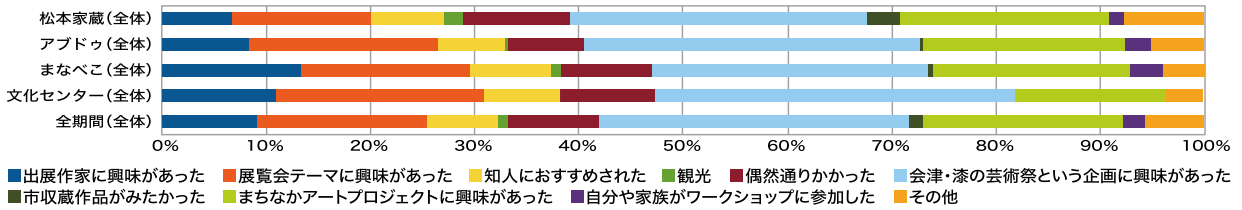
3-2. 展覧会を知ったきっかけ(複数回答)(市内)

	%	偶然通りかかった	知人などからの紹介	face book	twitter	insta gram	チラシ、ポスター	学校から配布のチラシ	テレビ	ラジオ	新聞記事	雑誌、情報誌等	市政だより	まちなかアートHP	その他	合計
松本家蔵(市内)	14.5	8.3	1.4	0.0	2.1	19.3	5.5	0.0	0.0	1.4	1.4	26.2	12.4	7.6	100	
アブドゥ(市内)	12.3	12.3	2.5	0.0	1.9	27.2	4.9	0.0	0.0	2.5	0.0	24.1	7.4	4.9	100	
まなべこ(市内)	13.2	15.1	1.9	0.0	1.9	24.5	2.8	0.0	0.0	1.9	0.9	23.6	6.6	7.5	100	
文化センター(市内)	17.5	5.0	2.5	0.0	0.0	27.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	7.5	7.5	100	
全期間(市内)	13.7	11.0	2.0	0.0	1.8	24.1	4.4	0.0	0.0	1.8	0.7	25.2	8.8	6.6	100	



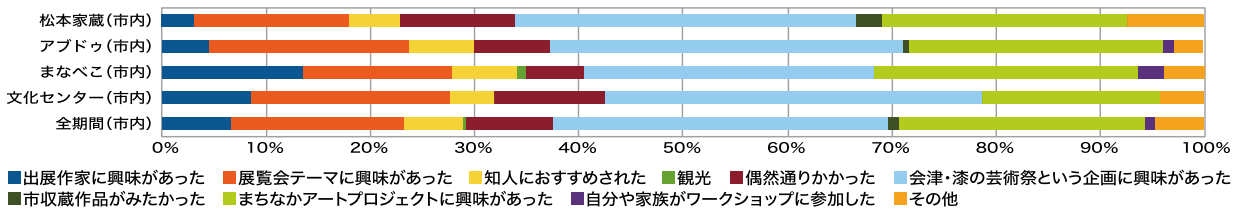
4-1 来場のきっかけ(複数回答)(全体)

	%	出展作家に興味があった	展覧会テーマに興味があった	知人におすすめされた	観光	偶然通りかかった	会津・漆の芸術祭という企画に興味があった	市収蔵作品がみえたかった	まちなかアートプロジェクトに興味があった	自分や家族がワークショップに参加した	その他	合計
松本家蔵(全体)	6.7	13.4	7.0	1.8	10.2	28.5	3.2	20.1	1.4	7.7	100	
アブドゥ(全体)	8.3	18.2	6.4	0.3	7.3	32.2	0.3	19.4	2.5	5.1	100	
まなべこ(全体)	13.3	16.3	7.7	1.0	8.7	26.5	0.5	18.9	3.1	4.1	100	
文化センター(全体)	10.9	20.0	7.3	0.0	9.1	34.5	0.0	14.5	0.0	3.6	100	
全期間(全体)	9.1	16.3	6.9	0.9	8.7	29.8	1.3	19.2	2.1	5.7	100	



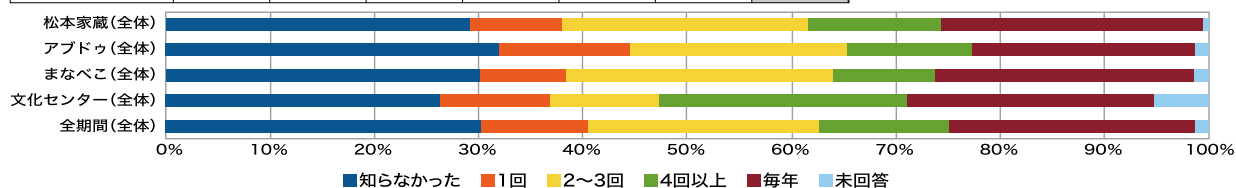
4-2 来場のきっかけ(複数回答)(市内)

	%	出展作家に興味があった	展覧会テーマに興味があった	知人におすすめされた	観光	偶然通りかかった	会津・漆の芸術祭という企画に興味があった	市収蔵作品がみえたかった	まちなかアートプロジェクトに興味があった	自分や家族がワークショップに参加した	その他	合計
松本家蔵(市内)	3.1	14.8	4.9	0.0	11.1	32.7	2.5	23.5	0.0	7.4	100	
アブドゥ(市内)	4.5	19.2	6.2	0.0	7.3	33.9	0.6	24.3	1.1	2.8	100	
まなべこ(市内)	13.5	14.3	6.3	0.8	5.6	27.8	0.0	25.4	2.4	4.0	100	
文化センター(市内)	8.5	19.1	4.3	0.0	10.6	36.2	0.0	17.0	0.0	4.3	100	
全期間(市内)	6.6	16.6	5.7	0.2	8.4	32.2	1.0	23.6	1.0	4.7	100	



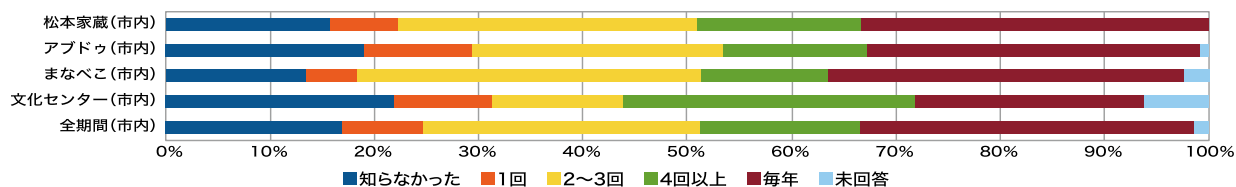
5-1. 昨年までに、あいづまちなかアートプロジェクトに来場した回数(全体)

%	知らなかった	1回	2~3回	4回以上	毎年	未回答	合計
松本家蔵(全体)	29.1	8.9	23.5	12.8	25.1	0.6	100
アブドゥ(全体)	31.9	12.5	20.8	12.0	21.3	1.4	100
まなべこ(全体)	30.1	8.3	25.6	9.8	24.8	1.5	100
文化センター(全体)	26.3	10.5	10.5	23.7	23.7	5.3	100
全期間(全体)	30.2	10.2	22.1	12.5	23.5	1.4	100



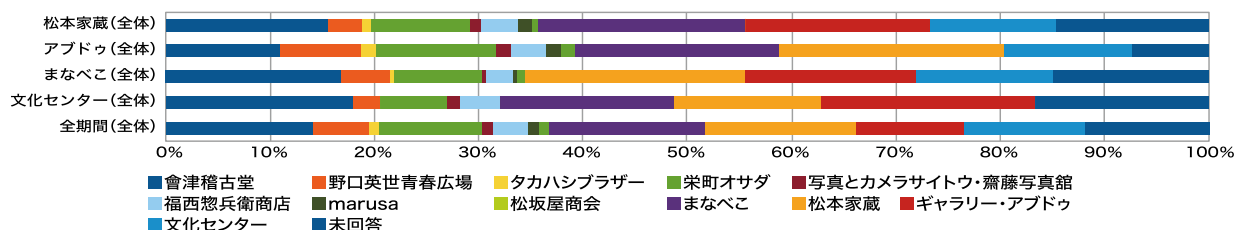
5-2. 昨年までに、あいづまちなかアートプロジェクトに来場した回数(市内)

%	知らなかった	1回	2~3回	4回以上	毎年	未回答	合計
松本家蔵(市内)	15.7	6.5	28.7	15.7	33.3	0.0	100
アブドゥ(市内)	19.0	10.3	24.1	13.8	31.9	0.9	100
まなべこ(市内)	13.4	4.9	32.9	12.2	34.1	2.4	100
文化センター(市内)	21.9	9.4	12.5	28.1	21.9	6.3	100
全期間(市内)	16.9	7.7	26.6	15.4	32.0	1.5	100



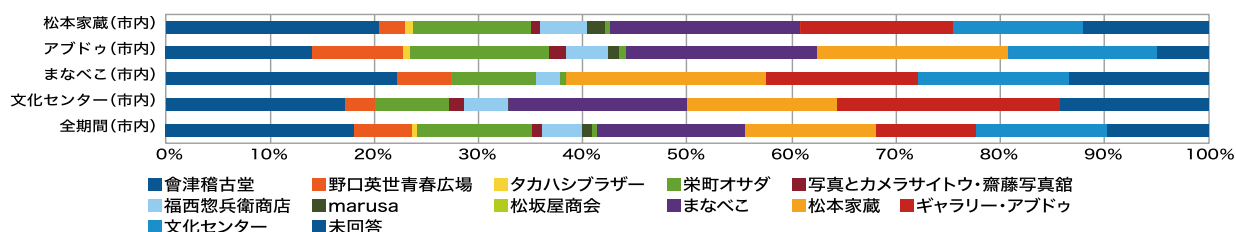
6-1. 今年のあいづまちなかアートプロジェクトで本会場以外で観覧したまたは来館予定の会場(複数回答)(全体)

%	會津稽古堂	野口英世青春広場	タカハシプラザ	柴町オサダ	写真とカメラサイトウ・齋藤写真館	福西惣兵衛商店	marusa	松坂屋商会	まなべこ	松本家蔵	ギャラリー・アブドゥ	文化センター	未回答	合計
松本家蔵(全体)	15.5	3.3	0.8	9.5	1.1	3.5	1.4	0.5	19.9	0.0	17.7	12.0	14.7	100
アブドゥ(全体)	10.9	7.8	1.4	11.5	1.4	3.4	1.4	1.4	19.5	21.5	0.0	12.3	7.4	100
まなべこ(全体)	16.8	4.7	0.4	8.4	0.4	2.6	0.4	0.7	0.0	21.2	16.4	13.1	15.0	100
文化センター(全体)	17.9	2.6	0.0	6.4	1.3	3.8	0.0	0.0	16.7	14.1	20.5	0.0	16.7	100
全期間(全体)	14.1	5.4	0.9	9.9	1.1	3.3	1.1	0.9	15.0	14.5	10.4	11.6	11.9	100



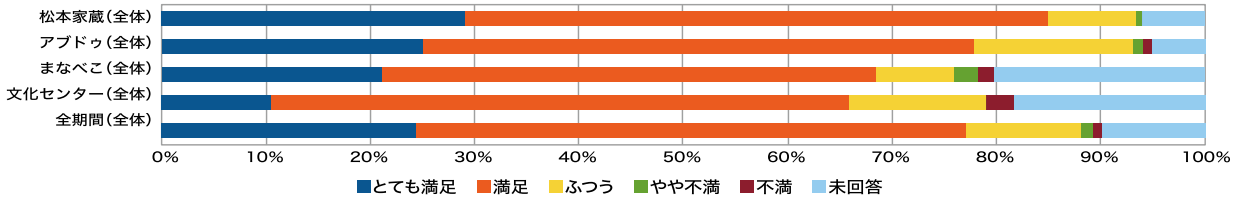
6-2. 今年のあいづまちなかアートプロジェクトで本会場以外で観覧したまたは来館予定の会場(複数回答)(市内)

%	會津稽古堂	野口英世青春広場	タカハシプラザ	柴町オサダ	写真とカメラサイトウ・齋藤写真館	福西惣兵衛商店	marusa	松坂屋商会	まなべこ	松本家蔵	ギャラリー・アブドゥ	文化センター	未回答	合計
松本家蔵(市内)	20.4	2.5	0.8	11.3	0.8	4.6	1.7	0.4	18.3	0.0	14.6	12.5	12.1	100
アブドゥ(市内)	14.0	8.7	0.7	13.3	1.7	4.0	1.0	0.7	18.3	18.3	0.0	14.3	5.0	100
まなべこ(市内)	22.1	5.2	0.0	8.1	0.0	2.3	0.0	0.6	0.0	19.2	14.5	14.5	13.4	100
文化センター(市内)	17.1	2.9	0.0	7.1	1.4	4.3	0.0	0.0	17.1	14.3	21.4	0.0	14.3	100
全期間(市内)	18.0	5.5	0.5	11.0	1.0	3.8	0.9	0.5	14.2	12.5	9.6	12.5	9.8	100



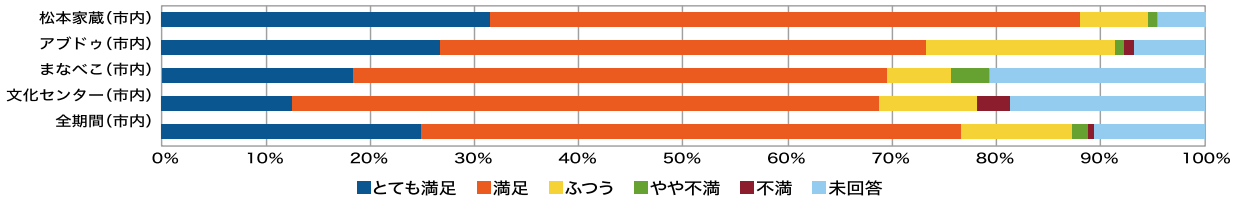
7-1. 展覧会の満足度(全体)

	%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
松本家蔵(全体)	29.1	55.9	8.4	0.6	0.0	6.1	100	
アブドゥ(全体)	25.0	52.8	15.3	0.9	0.9	5.1	100	
まなべこ(全体)	21.1	47.4	7.5	2.3	1.5	20.3	100	
文化センター(全体)	10.5	55.3	13.2	0.0	2.6	18.4	100	
全期間(全体)	24.4	52.7	11.1	1.1	0.9	9.9	100	



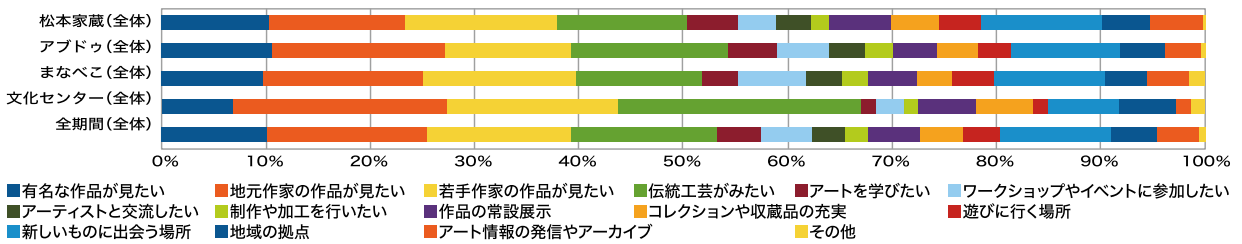
7-2. 展覧会の満足度(市内)

	%	とても満足	満足	ふつう	やや不満	不満	未回答	合計
松本家蔵(市内)	31.5	56.5	6.5	0.9	0.0	4.6	100	
アブドゥ(市内)	26.7	46.6	18.1	0.9	0.9	6.9	100	
まなべこ(市内)	18.3	51.2	6.1	3.7	0.0	20.7	100	
文化センター(市内)	12.5	56.3	9.4	0.0	3.1	18.8	100	
全期間(市内)	24.9	51.8	10.7	1.5	0.6	10.7	100	



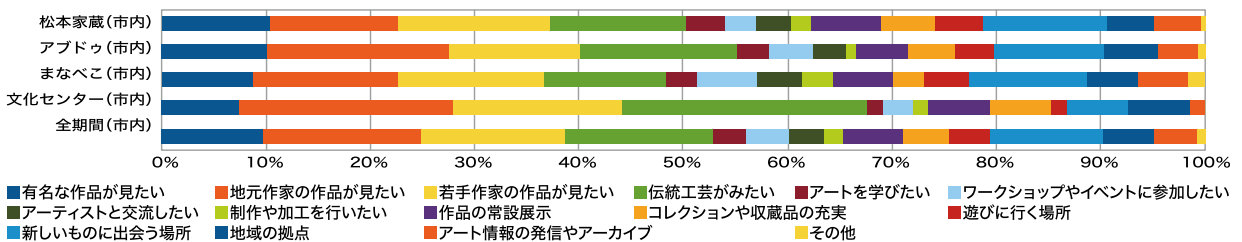
8-1. これからの美術館に望むこと(複数回答)(全体)

	%	有名な作品が見たい	地元作家の作品が見たい	若手作家の作品が見たい	伝統工芸がみたい	アートを学びたい	ワークショップやイベントに参加したい	アーティストと交流したい	制作や加工を行いたい	作品の常設展示	コレクションや収蔵品の充実	遊びに行く場所	新しいものに会える場所	地域の拠点	アート情報の発信やアーカイブ	その他	合計
松本家蔵(全体)	10.3	13.0	14.5	12.5	4.8	3.7	3.3	1.8	5.9	4.6	4.0	11.6	4.6	5.1	0.2	100	
アブドゥ(全体)	10.6	16.5	12.1	15.1	4.6	5.0	3.5	2.6	4.3	3.9	3.2	10.4	4.3	3.5	0.4	100	
まなべこ(全体)	9.7	15.3	14.6	12.1	3.4	6.5	3.4	2.5	4.7	3.4	4.0	10.6	4.0	4.0	1.6	100	
文化センター(全体)	6.8	20.5	16.4	23.3	1.4	2.7	0.0	1.4	5.5	5.5	1.4	6.8	5.5	1.4	1.4	100	
全期間(全体)	10.1	15.3	13.7	14.0	4.3	4.8	3.2	2.2	5.0	4.1	3.5	10.7	4.4	4.0	0.6	100	



8-2. これからの美術館に望むこと(複数回答)(市内)

	%	有名な作品が見たい	地元作家の作品が見たい	若手作家の作品が見たい	伝統工芸がみたい	アートを学びたい	ワークショップやイベントに参加したい	アーティストと交流したい	制作や加工を行いたい	作品の常設展示	コレクションや収蔵品の充実	遊びに行く場所	新しいものに会える場所	地域の拠点	アート情報の発信やアーカイブ	その他	合計
松本家蔵(市内)	10.8	12.3	14.5	13.0	3.7	3.0	3.3	1.9	6.7	5.2	4.5	11.9	4.5	4.5	0.4	100	
アブドゥ(市内)	10.1	17.4	12.5	15.0	3.1	4.2	3.1	1.0	4.9	4.5	3.8	10.5	5.2	3.8	0.7	100	
まなべこ(市内)	8.7	13.9	13.9	11.7	3.0	5.7	4.3	3.0	5.7	3.0	4.3	11.3	4.8	4.8	1.7	100	
文化センター(市内)	7.4	20.6	16.2	23.5	1.5	2.9	0.0	1.5	5.9	5.9	1.5	5.9	5.9	1.5	0.0	100	
全期間(市内)	9.7	15.1	13.8	14.2	3.2	4.1	3.3	1.9	5.7	4.4	4.0	10.8	4.9	4.1	0.8	100	



あいづまちなかアートプロジェクト2022 入場者アンケート自由記載(抜粋)

松本家

- 松本家蔵 少し明るくなりましたね。全国の各大学でも漆工芸作品の創作力が会津を超えていますね！各大学の専攻学科を知りたいです！[会場構成]
- 展示の感じを少し変えてほしい。去年と同じ感じではなく新しい感じをお願いします。[会場構成]
- 蔵も含め芸術あふれる場所でした。有意義な時間をありがとうございました[会場構成]
- 芸術作品としての漆工芸の素晴らしさに触れることができ良かった。普段使いの食器だけでなく芸術作品としての漆に将来性を感じる。若い作家も多く、心強く感じた。今日の企画は漆の将来性を問うとても良いものだと思う。[会場構成]
- 演出が良いです。[会場構成]
- 展示の色や配置、ライトアップが素敵です！[会場構成]
- 会場の雰囲気と漆の作品がマッチしていてよかったです。[会場構成]
- 作品がゆったり配置されていて特に立体物はどの方向からも見られて良いと思いました。[会場構成]
- 産地作品と違った漆作品の可能性が見られ面白かったです。[展示内容]
- 蔵と作品がマッチして、特別感がありました。他県の有名大学の学生さんや教授の方々の作品が観られるのはまちなかアートの醍醐味かと思えます。[展示内容]
- 材質をもう少し知りたかった[展示内容]
- ひとつひとつの個性が自由なもの、伝統的なものなど多彩で面白かったです。また来ます。[展示内容]
- 素晴らしい展示でした。器と作品とのコントラストが良かったです。写真撮影可能なものありがたいです。[展示内容]
- いつも発想の多様さにおどろきます。漆の可能性これからも広げてほしいです。[展示内容]
- 若手の作家さん頑張ってください。[展示内容]
- 今まで知らずに残念でした。偶然通りかかり拝見できてよかったです。[展示内容]
- 若い人にも見ていただきたい。学校などでPRしてほしい。[広報]
- 毎年、この蔵の展示を見せてもらってます。見てくださる人が少なくて残念に思います。若い力を感じる展示でした。[広報]
- タイムスケジュールが今年はないので、タイムスケジュールと地図があると助かります。[広報]
- 開催期間が分かりづらくて残念でしたが、楽しかったです。また来年も見に来ます。[広報]
- いつでも見れる美術館が地元であればいつも願っております。是非よろしくお願いします。[美術館関連]
- もっと会津に文化、芸術に皆が触れられる美術館などの場所があったらいいと思います。そして、作家さんや一般の方が交流できる機会や場所があれば街も活気づき、良いところになると思います。[美術館関連]
- 地元作家の作品がないのが淋しい。高価なものもあるのでとは思いますが、スタッフが一人で大丈夫なのでしょう。[スタッフ]
- 良い企画であり今後も続けていただきたい。[その他]
- 関係者のみなさま、このような催し物を開催していただきありがとうございました。少しずつでもよいので会津がアートを認めてくれる地域となれば良いと思います。[その他]
- コロナで縮小傾向なのは残念ですが、落ち着いたらもっと大規模に開催していただきたいです。[その他]
- いつも受付ありがとうございます。作品も非常に個性的で学生、先生など協力していただいて展示されていて、会津若松のひとつのイベントに協力して市民としてありがたく思います。[その他]
- アートに触れる機会がなかなか会津では少ないので、このような企画があると嬉しいです。昨年も来ました。[その他]

アブドゥ

- アブドゥの展示会場は明るくて良い。テーマがひとつの会場でわかりやすい。展示の仕方も大変良い。琉球漆芸をもっと広げてください。[会場構成]
- 学校の地域差が垣間見られ面白い。[会場構成]
- 素晴らしい展示でした。演出もよかったです。写真を撮影できるのもよかったです。[会場構成]
- うるしだけでなく、他の分野とMIXした展示を見たい。[会場構成]
- 芸術としての漆の可能性、将来性が感じられる素晴らしい展示会です。沖縄の漆の芸術の美しさに見とれていました。正直日本では余り知られていなく、特に若い作家のレベルの高さに驚きました。漆の未来に明るい展望を示してもらいたかったです。[会場構成]
- 説明文がもう少し詳しく書いてあればみやすいし作品が残象として残りやすい。[その他]
- 作品のところに作者のメッセージも載せられていた方が良かったと思います。[その他]
- 展示の仕方がかっこいい♡[会場構成]
- 今回初めて来場したのですが、展示作品がすばらしいものばかりで、次回もまた来ようと思いました！[展示内容]
- ふらっと立ち寄りましたが、楽しかったです。個人的には、使用できるものに興味がわきました。[展示内容]
- 様々な表現の方法があるのだなと知れて面白かったです。ありがとうございました。[展示内容]
- 若い作家(学生)さんの作品を見ることができてとても良かったです。いろんな漆を知ることができ、とても勉強になりました。また開催していただきたいです。[展示内容]

- デザインを学んでいる学生ですが、刺激を受けました。これからのアイデアに生かせたらと思います。[展示内容]
- 美術展に行くこと自体が初めてだったので、とても貴重な経験ができたと思います。これからも色々な美術展に行きたいと思うきっかけにもなりました。[展示内容]
- 作品の横に作者からのメッセージが添えられていると鑑賞しやすいと感じました。せっかくなので、他の会場までのご案内や簡単なマップが受付近くにあると他の会場へも足を運んでもらえると思います。[広報]
- Facebookで見かけてきてみました。今まわっている途中ですが、面白い企画だと思います。入りにくいお店があったりしているので、もう少し入りやすいと嬉しいです。[広報]
- とても興味深く見ました。せっかくの展示を多くの人に見てもらいたいと思いました。常に街中にアートがあるといいですね。[広報]
- 今年は「美術館」のあり方を問うことに感心。[美術館関連]
- 盛り上がる企画が必要。淋しい展示会です。[その他]
- 若手、会津、漆、ベテラン、アートで会津が盛り上がるように毎年のイベントにしてほしい。[その他]
- 漆芸にかかわる学校は限られています。漆は日本を代表する芸術です。すたれないで、続けられることを心より祈っております。このような素晴らしい作品が会津で見られること感動しております。これからもどうぞよろしく願いいたします。[その他]
- 昨年、知人の勧めで来て、今回2回目です。見応えがあって、毎年の楽しみになりつつあります。長く、続いてこういう輪が広がってほしいと思いました。[その他]

まなべこ

- 会津の伝統技法から地元の学生作品と幅広いカテゴリーのものが見れたのでとても良かった。[会場構成]
- 黒い背景（暗がり）の展示の中で作品だけに光がともされる展示空間が魅力的であると感じた。作品が主人公であることを表現している。[会場構成]
- 今年も楽しませていただきました。造形美や光の当て方、演出に魅了されました。[会場構成]
- 普段見かけることのない生漆の画像があると来場者への理解がより深まると思います。下駄は土産物店で見かけることなく、今回中央に目立つように配置されていたので興味深く拝見いたしました。会津大学短期大学部やハイテクプラザの訓練生など若手の方の活躍の場が本展を通じて広まりますように祈ります。[展示内容]
- 材料から製品までの会津塗の制作の流れをもっと分かりやすく発信してほしい。今は製品だけで工程が見えず、ボリューム不足に感じる。[展示内容]
- 会津桐下駄プロジェクトのコーナーに興味深く拝見しました。映像とのコラボがとてもよかった。学生さんの作品も素晴らしいかった。[展示内容]
- 会津漆器についてビデオ紹介は大変よかったです。ウルシの苗の植栽から成長、漆掻きまでの裏話を含め写真と説明があると漆の理解が深まると思います。[展示内容]
- とても素敵で個性ある作品達でした。学生さん方の作品には独特なセンスを感じました。これからも応援しております。[展示内容]
- この世のものとは思われない美しい作品で思わず見入ってしまいました。若い職人も育っているようで心強く思いました。漆も芸術性を高めた作品で世界で勝負できるものだと思います。漆の将来への可能性をいろいろ試みているこの取り組みは素晴らしいと思います。[展示内容]
- 下駄に漆というめずらしい物が見れたことが良かったです。普段、器以外で漆を見ないので、多くの作品があり、良かったです。会場の雰囲気も落ち着いていて良かったです。[展示内容]
- 起き上がり小法師、いろいろな表情、作品があって楽しい。漆作品を壁に飾ると、置き場所も困らないので良い方法ですね。[展示内容]
- アートを含む芸術活動は今後も続けて貰いたいところです。観光イベントだけでなく、市民もアートに興味を持てるようにしてほしいところです。いまからならこれからの子どもの世代が大きくなったときに大切になると思います。[展示内容]
- 来場者が少なく感じた。桐下駄の加工が素晴らしい。もっと多くの方々に見てもらい、会津の産品として販売ができればよいと思う。[広報]
- 10月から11月にかけて市内のあちこちで美術関係の催しがありますが、いつ、どこで、何をしているのかわかりにくいです。喜多方市の蔵のまちアート・ぶらり~のように一枚のチラシで分かるものがあるといいのですが… [広報]
- 会場を何ヶ所か回りましたが、アンケートを書く場所が全くありませんでした。[その他]
- 縮小している。美術史からみた漆の蒔絵の流れと水彩画の基本的構図の考え方を生涯学習講座を開くなり、蒔絵の方向性をあきらかにした作品指導が待たれる。[その他]
- 若い人がどんどん成長してほしい。新しい試みに挑戦してほしい。[その他]

文化センター

- 作品数が減っているような気がします。いっぱいないと面白くない。[会場構成]
- とても良かったです。作家さんの顔があればもっと良かったかな…。ありがとうございました。[会場構成]
- 展示物は素晴らしいので、それをひきたてる展示だと思いました。[会場構成]
- ありがとうございました。鞍がとても素晴らしかったです。[展示内容]
- 産地なのでもっとたくさん作品を見たかった。[展示内容]
- チャレンジを見たいです。[展示内容]

あいづまちなかアートプロジェクト 2022
「会津塗桐下駄プロジェクト」報告書

会津塗技術保存会

■会津塗桐下駄プロジェクトについて

会津では「漆器」と「桐製品」が古くからの地場産品として知られています。「漆器」は安土・桃山時代に遡るほど歴史が古く、また、「桐」も良質な産地として有名であり、タンスや下駄などの生産を行ってきました。これらの地場産品は江戸から明治、大正、昭和と身近な生活の道具として活用されてきており、歴史的にも庶民の「生活様式」や「文化水準」を顧みる貴重な資料ともなっております。今回、その「漆」と「桐」をマッチングさせた「蒔絵下駄」を制作することで、全国的にも一世を風靡した会津の地場産業の素晴らしさやそれを手掛けた先人たちの想いを少しでも「今」の社会に伝えられればと思っております。

■制作スケジュール

会津塗桐下駄プロジェクトは表1の制作スケジュールに沿って実施しました。

表1 制作スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月
①桐下駄の購入 ・桐下駄調査 ・購入先決定 ・購入・納品	●	★ ●	7/9 齋藤桐材店講演会実施 矢沢桐材店		
②図案の制作 ・蒔絵技法選定 ・図案制作		●	●		
③桐下駄制作 ・制作者の選定 ・下地・塗り ・蒔絵 ・鼻緒購入		●	●	★	
④作品解説 ・まなべこツアー				●	●

■ 桐下駄調査について

7月9日(土)に会津若松市内の齋藤桐材店の齋藤磐雄氏、齋藤洋一氏を講師に迎え、「会津桐下駄について」と題し、会津塗技術保存会会員向けに講演会を実施し、桐下駄の製造工程や道具(刃物)などをご紹介いただきました。



図1 講演中の様子



図2 桐下駄の製造で使用される道具

7月23日(土)に金山町にある矢沢桐材店様を訪問し、桐下駄の製造工程の見学を行いました。桐下駄に使用する原木の乾燥を行うための輪積み(図3)や、実際に製造を行っている様子(図4)、製造に使用する機械(図5)などの見学を行いました。



図3 輪積みの様子



図4 専用の刃物を使って桐下駄を製造している様子



図5 桐下駄の製造に用いる機械

■ 事前調査

1) 合目とは

- 左右の下駄の年輪がぴったり合うもの。同じ桐材から切り出して製造しているもの。

2) 主な桐下駄の名称と説明

- 田下駄：弥生時代（日本最古）。
- 足駄：平安後期～江戸。
- 山下駄：江戸時代。
- 露卯（ろぼう）／差歯下駄
- 馬下駄：台の形が四角・差歯、台の下が菱形にくり抜き馬の蹄のような音が鳴る。
- 助六下駄：桐の糸柱目、小判型、歯は朴材。1713年歌舞伎初演時に流行。
- 駒下駄（連歯下駄）／日和下駄（差歯下駄）：江戸（幕末）～。
- 千両下駄（のめり）：江戸～。
- 後丸千両／小町下駄：台の後ろに合わせて歯も丸くなっている。
- 右近下駄：底にスポンジを貼付けている。昭和～。
- ぼっくり：台の部分に蒔絵、中に鈴を入れたものもある。
- 一本歯下駄：山登り用。
- 下駄スケート：日本独自。明治～昭和30年代。
- 神職用下駄：会津桐白合皮丸下駄が一般的、鼻緒は白色。

■ 桐下駄の購入

矢沢桐材店様より、会津塗桐下駄を制作するために図6～11に示す桐下駄6種を購入しました。



図6 小町下駄_女性用(色粉蒔絵)
【寸法:(縦)7寸6分×(幅)2寸7分5厘×(高さ)1寸7分】



図7 駒下駄_女性用_合目(木地蒔絵)
【寸法:(縦)7寸5分5厘×(幅)2寸6分5厘×(高さ)1寸7分】



図8 千両下駄_子供用(漆絵)
【寸法:(縦)6寸6分×(幅)2寸6分5厘×(高さ)1寸4分】



図9 千両下駄(幅広)_男性用(鉄錆塗)
【寸法:(縦)8寸×(幅)3寸7分×(高さ)1寸8分】



図10 千両下駄_男性用(消痔絵)
【寸法:(縦)8寸×(幅)3寸1分×(高さ)1寸8分5厘】



図11 駒下駄_男性用(花塗)
【寸法:(縦)8寸×(幅)3寸1分×(高さ)1寸8分】

■制作した会津塗桐下駄と制作者一覧

今回制作した会津塗桐下駄の品名と制作者を表2に示しました。また各技法の説明も記載します。

表2 品名と制作者一覧

品名	製作者			技法説明	
	下地	塗	蒔絵		
会津型梅文様小町下駄	須藤・神	大森弘	佐藤直樹	色粉蒔絵	色粉蒔絵は、朱・松煙・弁柄などの顔料(色粉)と消粉を併用し、蒔き付けと蒔き量しの工法。色粉を使用することで、柔らかい表現が可能となる。
桜文様木地蒔絵駒下駄	照井克弘	照井克弘	照井克弘	木地蒔絵	木地の上に、蒔絵を施す部分にのみ下地を付けた後、消蒔絵・色粉蒔絵・研出蒔絵など、様々な技法表現が可能。(今回は、会津の消蒔絵・色粉蒔絵などの技法を応用した。)
唐子漆絵千両下駄	須藤・神	大森弘	大竹信一	漆絵	朱・黄・緑などの顔料と漆を練り合わせた色漆を使用し、筆で文様を描く技法。
梅鉄錆千両下駄	神郁江	-	小松・神	鉄錆塗	錆(砥粉と生漆を混ぜた下地)を盛り上げて絵を描き、鉄が錆たような表現をした加飾技法。代表的な伝統文様として、梅と鶯の文様を描いたものが多い。
秋草消蒔絵千両下駄	須藤・神	須藤・神	小松茂夫	消蒔絵	消粉蒔絵または、消金蒔絵とも称される。会津の蒔絵技法の中でも象徴的な技法の一つ。消粉は、金・銀箔を原料とした極めて細かい粉を蒔き付ける技法。粉色も上色粉(金)・常色粉(金+銀)・銀粉などがある。
花塗駒下駄	須藤・神	大森弘		花塗	桐の表面をこて焼きする。その後、塗り立てと称される会津の伝統的な塗を行う。埃や斑なく塗る高度な技法である。

■ 図案の選定と構想

(デザイン・・・井上 俊介)

蒔絵を行うにあたり、技法及び使用する性別に合わせ図案を作成しました。各図案(図12～16)とそのコンセプトを記載します。

① 会津型梅文様小町下駄

会津で染色の型紙として、使用されていた会津型を色粉蒔絵に応用しました。

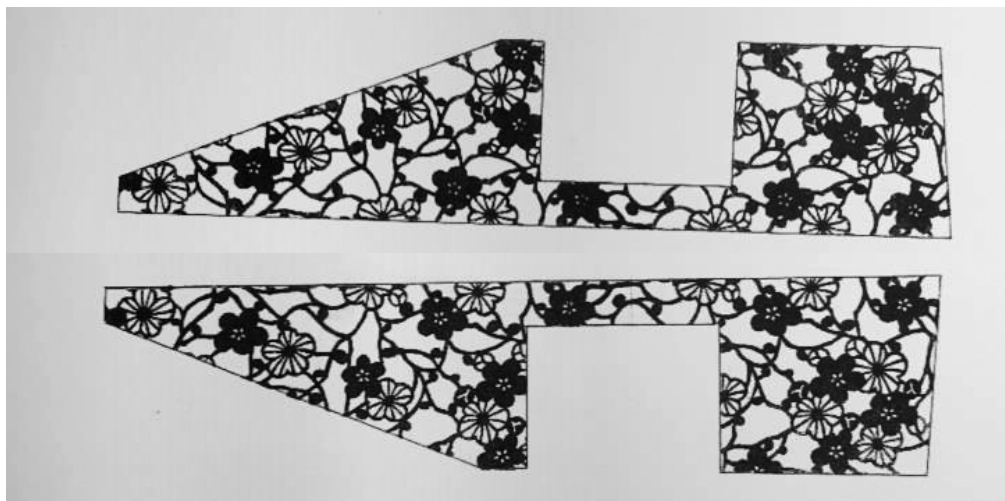


図12 会津型梅文様小町下駄_図案

② 桜文様木地蒔絵駒下駄

日本の春の象徴である桜模様を木地蒔絵で表現し、華やかさを演出しました。

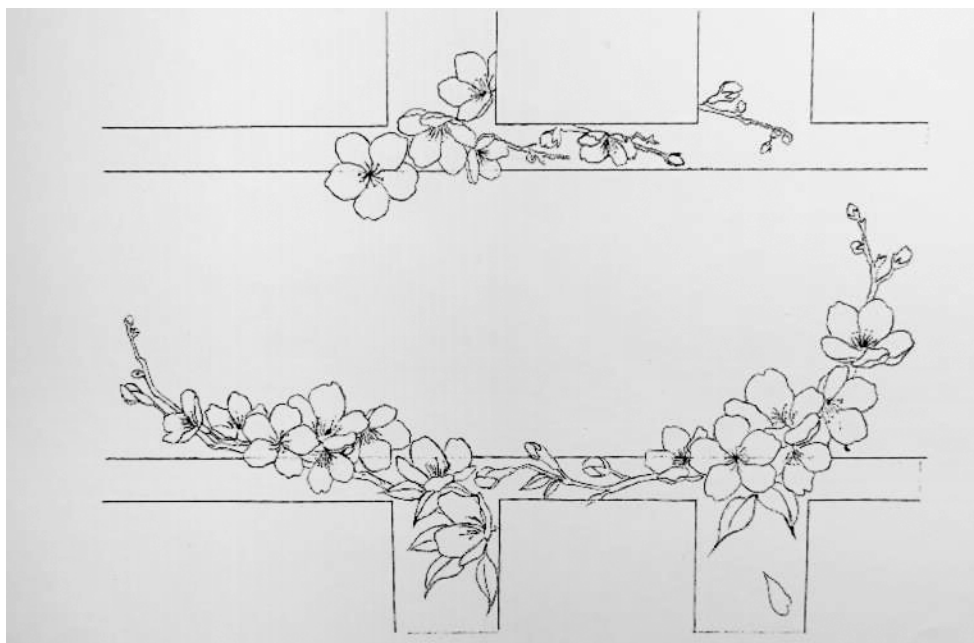


図13 桜文様木地蒔絵駒下駄_図案

③ 唐子漆絵千両下駄

子供用の下駄ということで幸せや繁栄を表す図案として知られる(唐子)の要素を用いたデザインとしました。

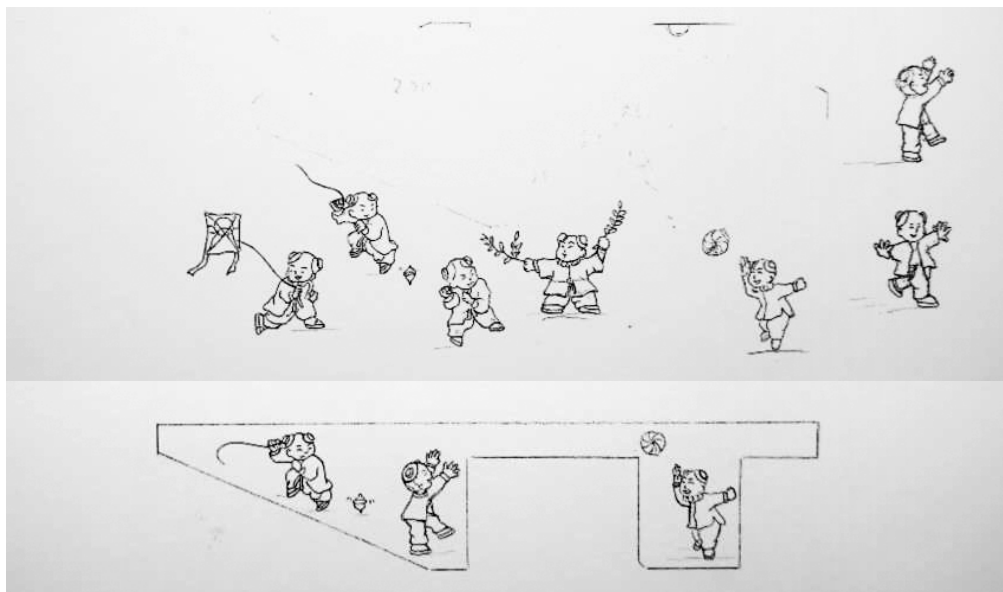


図14 唐子漆絵千両下駄_図案

④ 梅文様鉄錆千両下駄

会津の伝統装飾法。会津型梅文様小町下駄の梅型と対比させ、同じ「梅」でも装飾による印象の違いを表現しました。

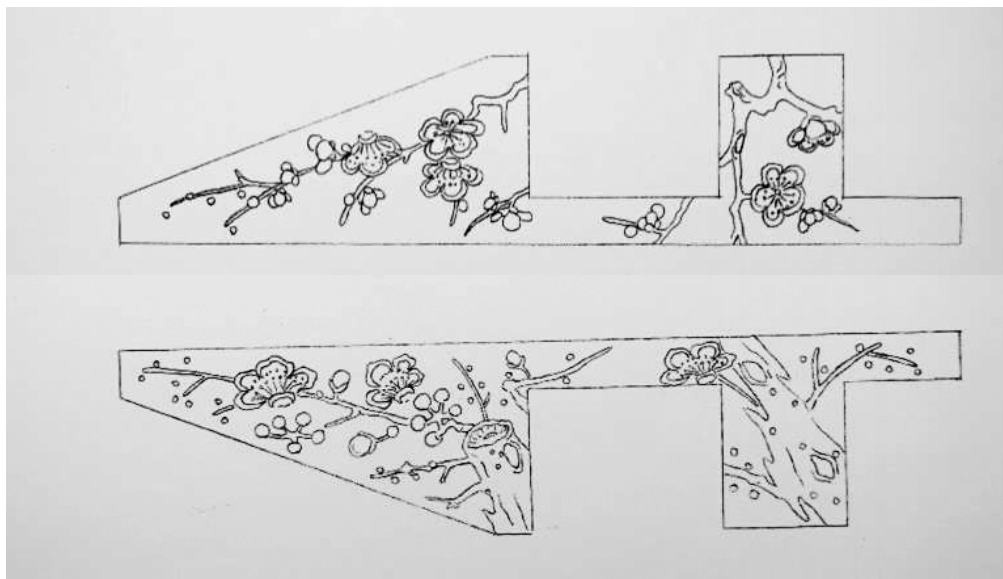


図15 梅文様鉄錆千両下駄_図案

⑤ 秋草消蒔絵千両下駄

消蒔絵の代表的な文様(秋草蒔絵)をデザインへ取り込み、他の下駄と異なる季節感を意識しました。会津の蒔絵技法の中でも象徴的な技法であり草花の表現が多彩であるため、全体的に散りばめた構図としました。

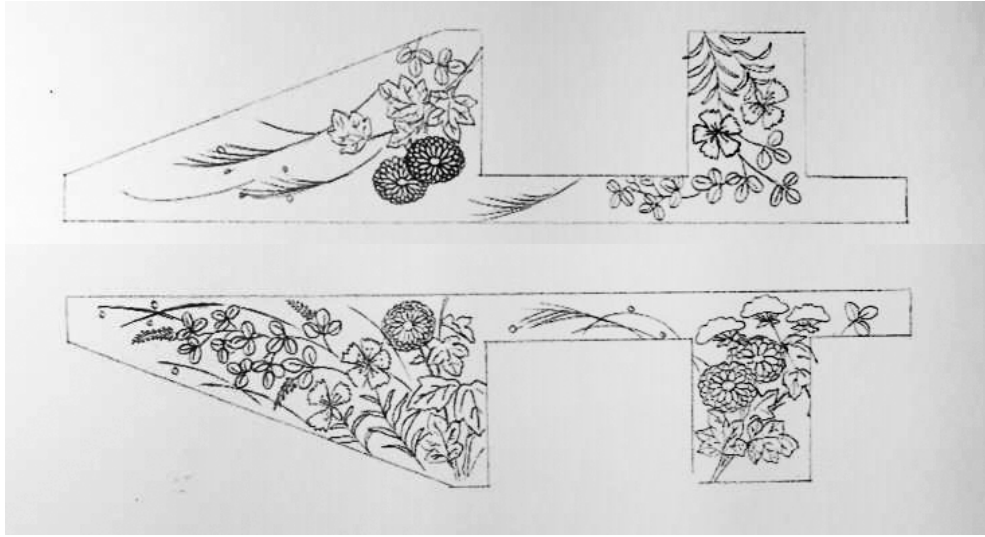






図16 秋草消蒔絵千両下駄_図案



■製作状況について(製作工程について)

6種類の下駄を製作するにあたり、木地調整から下・中塗り・呂色仕上げを行いその後、加飾と上塗りを会津塗技術保存会会員に依頼するとともに、各作業の記録と若手技術者へ技術研修会を開催し完成品としました。

表3 製作工程一覧

工程	制 作
脱脂と研磨 ↓	
こて焼き ↓	

工程	制作
下地付け (砥の粉錆) ↓	
研磨・下塗り・ ↓	
中塗り ↓	
加飾 (鉄錆塗) 技術研修会を兼ねる ↓	

鼻緒付け ↓	
完成	

■「会津塗桐下駄プロジェクトの展示」

令和4年10月1日～11月3日まで会津若松市歴史資料センター「まなべこ」の企画展示室に成果物の展示を行いました。展示の様子を図17、図18に示します。また、各桐下駄の写真を図19～24に示します。また、展示中には制作工程をまとめた動画の公開も行いました。



図17 展示の様子



図18 下駄の展示

色粉蒔絵小町下駄は、連続梅文様であえて全体を埋め、螺鈿素材も併用することでデザインの印象を強めました。蒔絵の金と鼻緒の色で統一感を演出し、女性らしい印象の物を選定しました。



図19 会津型梅文様小町下駄_完成品

木地蒔絵は、花びらを変色の少ないプラチナ粉を主に蒔き、金紛も使用しながら変化を持たせた加飾を行った。鼻緒は桜の要素を合わせたものを選定しました。



図20 桜文様木地蒔絵駒下駄_完成品

唐子漆絵千両下駄は、漆絵で可愛らしさを演出し、素地の朱色と合わせた鼻緒を選定しました。



図21 唐子漆絵千両下駄_完成品

梅文様鉄鍍千両下駄は、螺鈿と併用することで存在感を強調し、鍍色の「墨色」の印象と合わせた鼻緒を合わせ、統一性を演出しました。



図22 梅文様鉄鍍千両下駄_完成品

秋草消蔘絵千両下駄は、モチーフを秋草とし、鼻緒は落ち着きある茶色を選定しました。



図23 秋草消蔘絵千両下駄_完成品



図24 花塗駒下駄_完成品

■作品解説

まなべこツアーにて会津若松市内の小学生に会津塗桐下駄や漆の解説を行いました。ツアーの様子を図25、スケジュールを表4に示しました。



図25 まなべこツアーの様子(会津若松市立東山小学校)



図26 まなべこツアーの背説明様子(会津若松市立一箕小学校・佐藤 淳氏解説)

表4 まなべこツアースケジュール

令和4年度 まなべこツアー解説(まちなかアート会期中) 当番表

月	日	曜日	学校名	参加者数		日程	担当者
				班(児童数+引率者)	総数		
10月	4日	火	東山小学校	1班 22+1 2班 23+1	47人	B	須藤 靖典
	5日	水	永和小学校・河東①	永和1班 12+1 河東1班 25+2	40人	B	川俣 博
	6日	木	河東学園②	2班 25+1 3班 26+1	53人	B	佐藤 直樹
	7日	金	行仁小学校	1班 25+1 2班 23+1	50人	B	渡部 佳澄
	12日	水	城西小学校①	1班 30+2(A・B) 2班 31+2(A・B)	65人	B	小松 茂夫
	14日	金	城西小学校②	3班 29+1(A・B)	30人	A	長谷川 利之
	18日	火	一箕小学校①	1班 27+1(A・B) 2班 29+2(A・B)	59人	B	佐藤 淳
	19日	水	一箕小学校②	3班 29+1(A・B) 4班 30+2(A・B)	62人	B	照井 克弘
	20日	木	門田小学校	1班 30+1(A・B) 2班 32+2(A・B)	65人	B	大森 弘
	26日	水	城南小学校①	1班 23+1 2班 24+1	49人	B	大竹 信一
	27日	木	城南小学校②	3班 25+2	27人	A	井上 俊介
11月	4日	金	門田小学校	1班 30+1(A・B) 2班 32+2(A・B)	65人	B	大森 弘

※延期

■会津塗桐下駄プロジェクトを通して

今回のプロジェクトを通して、会津における桐下駄の歴史や製造工程などを深く理解することができ、「漆」と「桐」をマッチングさせた「蒔絵下駄」を制作することで、全国的にも一世を風靡した会津の地場産業の素晴らしさを伝えられたと思っております。

今回のプロジェクトに取り組むにあたり、ご協力いただいた全ての関係者の皆様に感謝を申し上げます。

会津塗技術保存会 会長 須藤 靖典

大戸町南原地内における特用林ウルシ樹育成事業

事業概要

本事業は、本市の代表的な伝統工芸である漆器産業の更なる発展のため、県の森林環境交付金を活用して、植栽管理中の一箕町金堀のウルシ団地につき、大戸町南原への新たなウルシ団地整備を目指すものです。

平成28年度は50本の苗木を試験植栽し、平成29年度～令和3年度に2,250本の苗木を植栽してきました。

今年度は土壌改良に替えて客土を行い、ウルシの苗木が完全に落葉した時期に合わせ、50本の苗木を植栽しました。

また、今年度は苗木の保護のための獣害防止用ネットを設置し、保育管理の強化を図りました。

今年度は、コロナウイルス感染症の影響により、ウルシ苗を栽培している会津農林高等学校の生徒や漆工芸を学ぶ会津大学短期大学部の学生による植樹体験が実施できませんでしたが、地元の伝統工芸の会津漆器興味を持ち、将来の林業従事者の育成や会津の伝統産業として漆文化の継承につながることを目指して、次年度以降も同校の協力を得て植樹体験を再開する計画です。

これまでの実績

南原の事業用地約11.8haのうち、今年度までに3.075haの土壌改良と2,350本の植栽を実施しており、植樹した苗木は、約15年後に会津漆器の原料としてウルシ液の採取が見込まれることから、継続して保育管理に努めていきます。

	植栽数 (本)	土壌改良 (ha)
H28 (試験植栽)	50	-
H29	450	0.6
H30	450	0.6
H30・R1	450	0.6
R2	450	0.6
R3	450	0.6
R4	50	0.075(客土)
合計	2,350	3.075



ウルシ樹の展示・掻き取りの様子・ウルシ林造成について紹介

あいづまちなかアートプロジェクト「会津・漆の芸術祭」の展示会場の一つである会津若松市歴史資料センターまなべこの企画展示室に、会津・漆の芸術祭の開催期間中、一箕町金堀地区で伐採したウルシ液の掻き取りを行ったウルシ樹を展示し、掻き取りの様子を写真でご覧いただきました。また、大戸町南原開発農地におけるウルシ林造成についても、下刈り、土壌改良、植栽の3つの作業に分けて、ウルシ団地整備の内容をパネルで紹介しました。

期間：10月1日（土）～11月3日（木・祝）

会場：会津若松市歴史資料センターまなべこ企画展示室



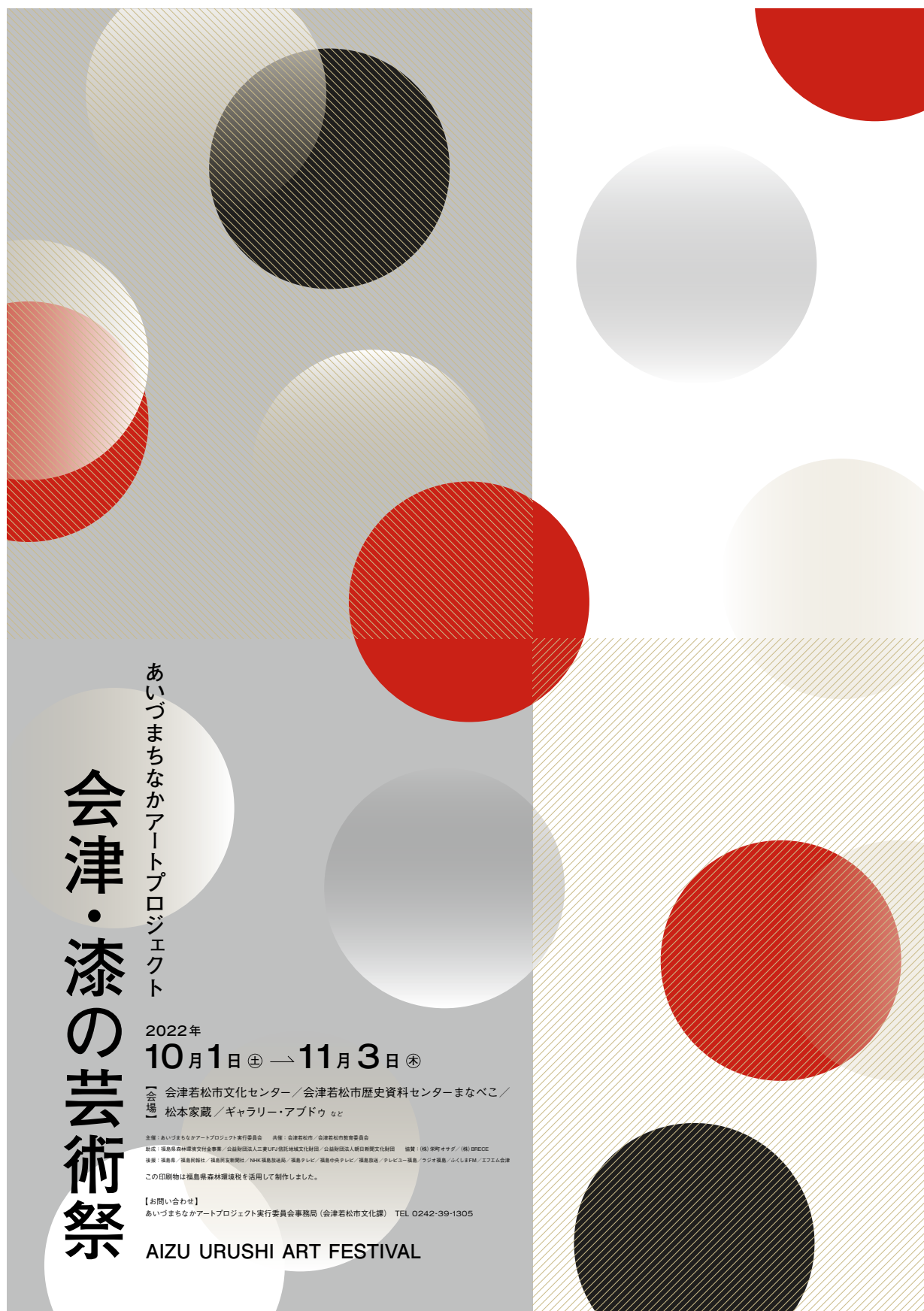
ウルシ樹の展示



大戸町南原開発農地におけるウルシ林造成



■ポスター



あいづまちなかアートプロジェクト
会津・漆の芸術祭

あいづまちなかアートプロジェクト

2022年
10月1日(土) — 11月3日(木)

【会場】 会津若松市文化センター／会津若松市歴史資料センターまなべこ／
松本家蔵／ギャラリー・アブドウ など

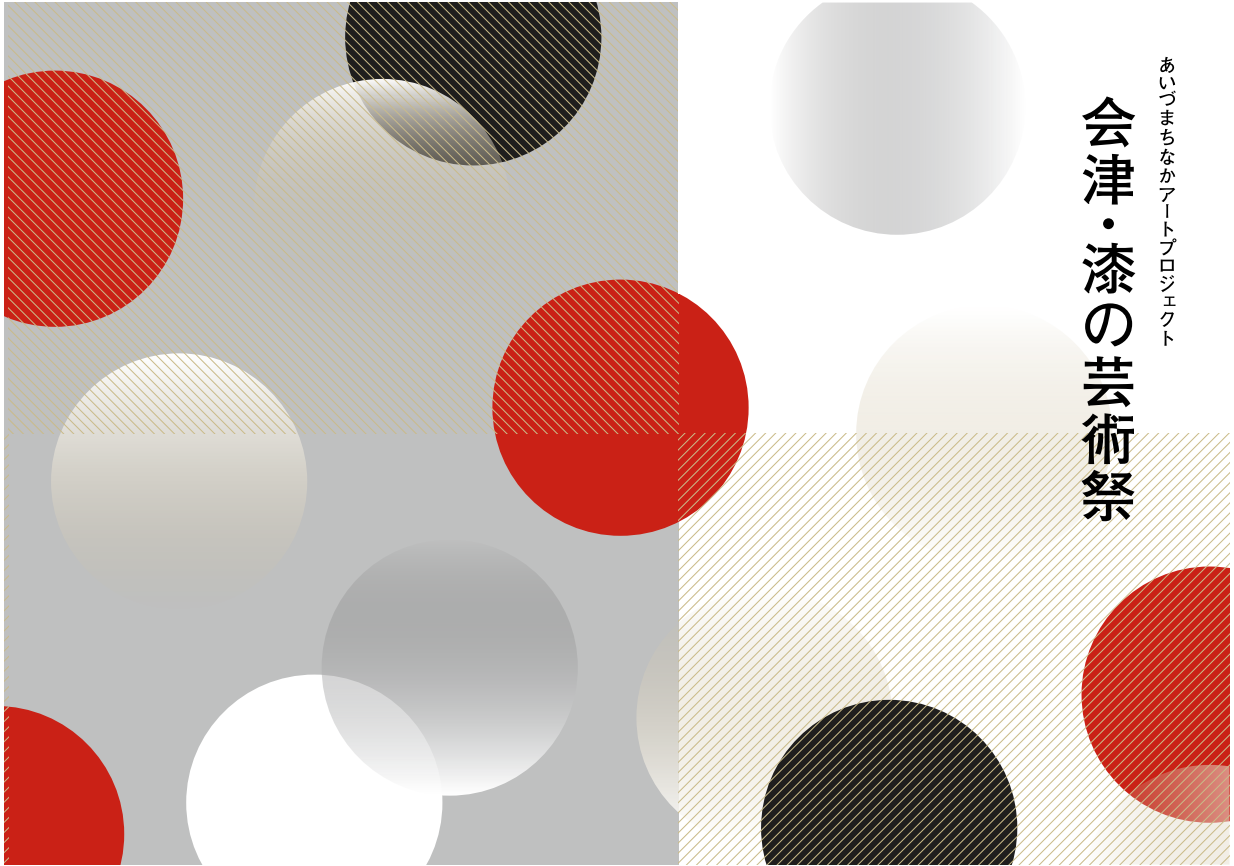
主催：あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会 共催：会津若松市／会津若松市教育委員会
助成：福島県森林環境文化基金／公益財団法人三愛UP／住野地域文化財団／公益財団法人朝日新聞文化財団 協賛：(株)伊野オサダ／(株)BICE
後援：福島県／福島県産物／NHK福島放送局／福島テレビ／福島中央テレビ／福島放送／テレビユー福島／ラジオ福島／ふくしまFM／エフエム会津
この印刷物は福島県森林環境税を活用して制作しました。

【お問い合わせ】
あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会事務局（会津若松市文化課） TEL 0242-39-1305

AIZU URUSHI ART FESTIVAL

■パンフレット

[表紙]



[1P]

会津・漆の芸術祭

会津・漆の芸術祭によせて

あいづまちなかアートプロジェクト「会津・漆の芸術祭」にかかわらせていただき10年目となりました。産地の魅力、手仕事の力、あらゆる漆の創作を伝えたいと願い、近年は会津若松市にゆかりのあるテーマに基づき様々な視点から漆文化の魅力を示してきました。これまで協力いただいた、会津漆器を支える皆さん、大学等で漆芸教育に携わる先生方や学生の皆さん、創作活動を通して漆の力を表現する美術作家の皆さんに心から感謝申し上げます。いつの時代も文化や産業に先進性を持って取り組んできた会津は懐の深い漆器産地であり、未来の漆文化を創出できる場だと思います。これからも会津に集い、漆の魅力を発信するために、あらゆる可能性を求めて皆さんと意見を交わしていきたいと思っています。

会津大学短期大学部 教授 井波 純

新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、展示期間が変更、中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

漆は、古くから会津の地で守り伝えられてきた文化資源です。この財産を未来へ伝承し続けていくため、今年で10年目となる会津・漆の芸術祭では、漆のアート作品に光をあてながら、漆そのものの魅力だけでなく、漆とともに生きている地域の歴史・文化・芸術の素晴らしさを伝え、将来を担う若者の人材育成と次世代への文化の継承を目指します。



また、会津若松市の代表的な伝統工芸である漆器産業の発展のため、県の森林環境交付金を活用して、本市農林課は大戸町南原へ新たなウルシ団地整備のため植樹活動を行っています。平成28年度に50本の苗木を試験植栽してから、将来の林業従事者の育成や会津の伝統産業として漆文化の継承につながることを目指して、会津農林高等学校や漆工芸を学ぶ会津大学短期大学部の学生の協力を得ながら今まで2,000本以上の苗木を植栽しました。15年後、その苗木から会津産漆が取れることを願っています。



1 ● あいづまちなかアートプロジェクト

[2P]

1

うるしその可能性と未来

北は秋田から南は沖縄まで全国の漆芸大学 11 校で生み出された漆のアート作品が会津に集結します。古い蔵やギャラリーなど市内 3 会場で漆の特色を活かした個性的なアート作品をご観いただけます。漆器とは異なる漆の魅力が光る作品の数々は、漆の新しい魅力と可能性を示してくるでしょう。毎年恒例になった大学生が制作した漆塗りの起き上がり小法師も登場しますので、ぜひお楽しみください。

／協力／

会津大学短期大学部、秋田公立美術大学、宇都宮大学、沖縄県立芸術大学、金沢美術工芸大学、京都市立芸術大学、筑波大学、東京藝術大学、東北芸術工科大学、富山大学、広島市立大学



《乾漆蒔絵師箱「白雨」》新井 寛生



《かたち》馬 勇

／期間／

10月1日(土) - 11月3日(木・祝)
平日 11:00 - 16:00
土日祝日 10:00 - 17:00

／会場／

松本家蔵(上町4-1)

／期間／

10月1日(土) - 10月30日(日)
平日 11:00 - 16:00
土日祝日 10:00 - 17:00

／会場／

ギャラリー・アブドゥ(栄町オサダ3階 中町1-4)

／期間／

10月1日(土) - 11月3日(木・祝)
9:00 - 17:00(入館締切 16:30)
月曜休館・月曜祝日の場合は翌日休館

／会場／

会津若松市歴史資料センターまなべこ 企画展示室(城東町2-3)

2

第58回会津工芸新生会展

会津地方を中心に半世紀以上の歴史を誇る会津工芸新生会の作品をご紹介します。会津工芸新生会は「漆芸」「陶芸」「木工芸」「金工」「七宝」と5つのジャンルからなる芸芸家集団です。各分野で活躍する会員の作品を堪能ください。

／協力／

会津工芸新生会

／期間／

10月7日(金) - 10月12日(水)
9:00 - 17:00(最終日 16:00まで)
10月11日休館

／会場／

会津若松市文化センター 美術実習室2
(城東町14-52)



画像は昨年の展示風景です

会津・漆の芸術祭 ● 2

[3P]

3

会津塗桐下駄プロジェクトの展示

会津漆器の作り手による制作プロジェクト。会津塗技術保存会の作り手の皆さんが会津の桐下駄を漆塗りで仕上げる制作プロジェクトに取り組みました。完成した桐下駄と会津塗技術保存会の会員による作品を展示します。

／協力／

会津塗技術保存会

／期間／

10月1日(土) - 11月3日(木・祝)
9:00 - 17:00(入館締切 16:30)
月曜休館・月曜祝日の場合は翌日休館

／会場／

会津若松市歴史資料センターまなべこ 企画展示室
(城東町2-3)



制作中の様子

4

現代漆芸作家展「紅蓮」「翁」

東京藝術大学出身の漆芸作家のいらはらみつみ氏の作品を展示します。「紅蓮」
猛火の炎の色と言われる「紅蓮」。人の心は時として「紅蓮」に染まることがある。それは、情念の淵に立った者にしか見えない炎なのだろう。

「翁」

能「翁」の舞台。白い面をつけた「翁」が退場すると「三番叟」が躍り出、やがて黒い面をつける。「三番叟」は「黒い翁」となり、語ることを許されない「白い翁」の代弁をするかのように、自らの運命を語りつづける。

／協力／

いらはらみつみ

／期間／

10月1日(土) - 10月30日(日)
平日
11:00 - 16:00
土日祝日
10:00 - 17:00

／会場／

ギャラリー・アブドゥ
(栄町オサダ3階 中町1-4)



展示イメージ

5

板倉巴紋蒔絵鞍籠の展示

南相馬市小高区の板倉好幸氏が東日本大震災を契機に会津地方に移り住んで11年。板倉氏の希望により、3年という歳月をかけて会津漆器の職人が板倉氏所有の鞍と籠をリニューアルしました。

／協力／

板倉好幸、(監修)須藤靖典、(塗り)大森康弘、
(蒔絵)佐藤淳、(塗り・蒔絵)神郷江

／期間／

10月7日(金) - 10月12日(水)
9:00 - 17:00(最終日 16:00)
10月11日休館

／会場／

会津若松市文化センター 練習室
(城東町14-52)



リニューアルされた鞍と籠

3 ● あいづまちなかアートプロジェクト

[4P]

6

SL会津只見号ヘッドマークの展示

2011年7月の「新潟・福島豪雨」で被災し、一部が不通になったJR只見線が、11年ぶりに全線運転が再開されることを記念して、2010年10月30日・31日の2日間だけSL会津只見号に取り付けられた漆塗りのヘッドマークを展示します。

／協力／
井波純、吾子可苗

／期間／
10月1日(土) - 11月3日(木・祝)

／会場／
JR会津若松駅



SL会津只見号のヘッドマーク

7

オリジナルプリントの会津木綿で作る桐下駄 (事前申込制)

キラキラ光る箔プリントを加えた会津木綿を使い鼻緒を作り、自分だけの桐下駄を制作します。(定員8名)

／協力／
東京造形大学

／参加費／
500円

／持ち物／
裁縫道具(針・糸切りバサミ、裁ちばさみ)をご持参ください

／日時／
10月29日(土) 10:00 - 12:00

／会場／
會津稽古堂 美術工芸スタジオ
(柴町3-50)

／申込先／
実行委員会事務局(会津若松市文化課)
0242-39-1305



制作イメージ

8

漆体験教室 (事前申込制・空きがあれば当日参加も可)

会津漆器協同組合青年部による本漆を使用したワークショップを開催します。ぐいのみへ摺り漆または変り塗のお箸の研ぎ出しを体験できます。(漆を乾かして後日お渡し)

／協力／
会津漆器協同組合青年部

／参加費／
木製ぐいのみ or 箸 3,000円

／日時／
11月3日(木・祝)
10:00 - 13:00 - 15:00 - (各時間定員4名)

／会場／
會津稽古堂 美術工芸スタジオ
(柴町3-50)

／申込先／
実行委員会事務局(会津若松市文化課)
0242-39-1305



制作イメージ

会津・漆の芸術祭 ● 4

[5P]

作家からのメッセージ

会津では「漆器」と「桐製品」が古くからの地場産品として知られています。「漆器」は安土・桃山時代にまで遡るほど歴史は古く、また、「桐」も会津は良質な材の産地として有名であり、タンスや下駄等の生産を行ってきました。これらの地場産品は江戸から明治、大正、昭和と、身近な生活の道具として活用されてきており、歴史的にも庶民の「生活様式」や「文化水準」を顧みる貴重な資料ともなっています。今回、その「漆」と「桐」をマッチングさせた「時絵下駄」を製作することで、全国的にも一世を風靡した会津の地場産業の素晴らしさやそれを手掛けた先人達の想いを少しでも「今」の社会に伝えられればと思っています。

須藤 靖典

会津塗技術保存会 会長

会津塗桐下駄プロジェクト / 出品



増山 明恵

会津大学短期大学部 非常勤講師

うるし その可能性と未来 / 出品

初めて会津・漆の芸術祭に参加した際、とにかく印象的だったのは歴史的・文化的な建物と様々なタイプの展示作品が一体となり、不思議な魅力のある空間を作っていることでした。また、街歩きを楽しみながらの鑑賞にも心が弾んだことを覚えております。

近年のコロナ禍において、活動を継続することは決して容易なことではなかったと思われます。そのような中でも漆の芸術祭を継続し、10年目を迎えられましたことを非常に喜ばしく思います。伝統と未来の可能性を併せ持つ漆の魅力を発信するこの芸術祭が、今後もより多くの人の心を潤すことを願います。

[6P]

今年、10回目を迎えるあいづまちなかアートプロジェクト、私は富山大学教員として、第1回から皆勤で参加させて戴いています。

会津・漆の芸術祭「うるし その可能性と未来」は、全国の漆工芸を教育する高等教育機関から作品を集め、会津若松の街中に展示をするという企画で、石川県輪島漆芸美術館で行われる「生新の時」と並び、全国の漆工芸の高等教育の成果を一堂に見られる貴重な機会となっています。この事業の中でも特に素晴らしい企画が関連事業として行われている「真夏の漆塾」です。会津漆器の独特な技法（鉄錆塗、朱磨き、消粉蒔絵等）を、その道のプロ中のプロである職人さんから実技を通して学ぶという、合宿の勉強会です。ここ数年、コロナ禍の影響で開催が見送られています。早くの復活を望みます。

高橋 誠一

富山大学 教授

うるし その可能性と未来 / 出品



いらはら みつみ

漆芸作家

現代漆芸作家展「紅蓮」/ 出品

会津・漆の芸術祭には「あいづまちなかアートプロジェクト」がはじまる前からおつきあいがあり、その間にさまざまな方と出会わせて頂きました。その一人一人と今も繋がっていることを嬉しく思っております。同プロジェクトの素晴らしいところは、伝統工芸から日常使いの器まで幅広い分野の作家が参加できること。そして教師・学生・作家・職人など多方面の立場の方が出展できること。これは全国でも珍しいたいへん意義のある特長です。10年という節目を迎えた今、新風を入れながら更なる発展ができるように、微力ながらご協力できればと思っております。

会津・漆の芸術祭 ● 6

[7P]

主な出品作品

展示会場 A / 松本家蔵 展示会場 B / ギャラリー・アブドゥ
展示会場 C / 会津若松市歴史資料センター まなべこ 企画展示室 展示会場 D / 会津若松市文化センター



育む

須藤 靖典 | 会津塗技術保存会 会長 | 展示会場 C



蒔絵水指「旅」

佐藤 達夫 | 会津工芸新生会 会長 | 展示会場 D

7 ● あいづまちなかアートプロジェクト

[8P]



乾漆蒔絵箱「うらひとま」
田中 錠 亜美 | 東京藝術大学 | 展示会場 B



平文小箆筒
小川 太郎 | 富山大学 | 展示会場 A



蒔絵螺鈿宝石箱「立葵」
吾子 可苗 | 福島県ハイテクプラザ・会津大学短期大学部 | 展示会場 C

会津・漆の芸術祭 ● 8

[9P]



ナンテン
藤田 薫 | 広島市立大学 | 展示会場 A



色貝蒔絵飾篋「南」
松崎 森平 | 沖縄県立芸術大学 | 展示会場 B



地球(ホシ)のかげら
星 温美 | 宇都宮大学 | 展示会場 B

9 ● あいづまちなかアートプロジェクト

[10P]



風を盛る
大矢 一成 | 京都市立芸術大学 | 展示会場 A



蒔絵パネル「Koblenzへの道」
小椋 範彦 | 東京藝術大学 | 展示会場 B

会津・漆の芸術祭 • 10

[11P]



変塗蒔絵螺鈿箱「タカネスミレ」
熊谷 晃 | 秋田公立美術大学 | 展示会場 C



flames-I
松島 さくら子 | 宇都宮大学 | 展示会場 B

11 • あいづまちなかアートプロジェクト

[12P]



花紋乾漆器
青木 伸介 | 広島市立大学 | 展示会場 A



乾漆水指 - STAR -
松本 由衣 | 東北芸術工科大 | 展示会場 C



Scotoma
佐々木 岳人 | 東京藝術大学 | 展示会場 B

会津・漆の芸術祭 • 12

[13P]



乾漆螺鈿合子「三羽の天道虫」
しんたに ひとみ | 富山大学 | 展示会場 A



宇宙の卵 III
増山 明恵 | 会津大学短期大学部 | 展示会場 C



漆組器「悠かなる祈り」
井波 純 | 会津大学短期大学部 | 展示会場 C

13 • あいづまちなかアートプロジェクト

[14P]



守箱 ふんころがし
青木 宏暉 | 東京藝術大学 | 展示会場 B



漆の大皿
高橋 誠一 | 富山大学 | 展示会場 A

会津・漆の芸術祭 ● 14

[裏表紙]

同時開催 とまりぎ美術館で待ちあわせ
— 会津若松でつちかう・美術館がある風景 —

参加 | 浅野友理子 / 川合南菜子 / 佐藤香 / 鈴木一部 / 高橋克幸 /
作家 | 馬場泰 / halo / Kengo hirano / 餅井喬 / 長嶺キミ

【第1期】 10月8日(土) - 10月12日(水) 10:00 - 18:00 (最終日15:00まで)
会場 | 會津稽古堂(栄町3-50) ※ 会津若松市収蔵作品もあわせて展示します。

【第2期】 10月15日(土) - 11月6日(日) 10:00 - 16:00
会場 | 野口英世青春広場(中町1-23) + 市内店舗

助成 | 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団 / 公益財団法人朝日新聞文化財団
あいづまちなかアートプロジェクトへ
協賛いただいた企業の皆様

※ この印刷物は福島県森林環境税を活用して制作しました。

【お問い合わせ】
あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会事務局(会津若松市文化課)
TEL | 0242-39-1305 Facebook | あいづまちなかアートプロジェクト

この印刷物は、福島県の森林環境税を活用して制作しました。

福島県の森林は、全国に誇る湖沼など良好な水環境の保全、安全で快適な生活環境の保全、豊かな自然環境の保全、木材の生産など多面的な機能を持ち、私たちの生活に様々な恵みをもたらしています。そして、これまで森林と人との関わりの中で森林を守り育てながらこれを有効に利用するための知恵や技術、生活様式といった森林文化が育まれてきました。

しかし、森林の維持管理を担ってきた林業生産活動の停滞や農山村の過疎化、生活様式の変化などから人々の心が森林から遠ざかっており、必要な手入れや利用が行われなまま放置される森林が見られるなど、森林の持つ公益的機能の発揮を将来にわたって確保することが困難になるおそれが生じています。

一方、生活の向上や価値観の多様化、特に、地球温暖化問題や自然との共生指向などから森林の持つ公益的機能の発揮が一層期待されるようになっていきます。

今に生きる私達は、このような森林を未来も豊かであるよう守り育て未来の世代に引き継ぐ責務があります。そのためには、私たち一人一人が森林がもたらす様々な恵みにより日常生活が支えられていることを理解し、森林づくりの重要性と果たすべき役割について考え、行動し、森林の保全に参画する必要があります。

そこで、福島県は、平成17年11月20日に「森林文化のくに・ふくしま県民憲章」を制定するとともに、平成18年度から森林環境税を活用し、森林所有者や林業の枠組を超えた「県民一人一人が参画する新たな森林づくり」に取り組んでいます。

森林文化のくに・ふくしま県民憲章

わたしたちは、

- 1) 森林を敬い、あらゆるいのちを尊びます。
- 2) 森林にふれあい、心豊かに生きます。
- 3) 森林の恵みに感謝し、活かします。
- 4) 森林を守り育て、未来につなぎます。

あいづまちなかアートプロジェクト2022開催報告書

2023年3月発行

制作：あいづまちなかアートプロジェクト実行委員会

<http://aizu-artpj.com/>

<事務局>福島県会津若松市追手町2-41
会津若松市教育委員会 文化課

あいづまちなかアートプロジェクトへ助成・協賛いただいた企業の皆様



公益財団法人三菱UFJ 信託地域文化財団 公益財団法人朝日新聞文化財団